

## 本庄市

# 地域の支え合いについての調査 (地域福祉計画・地域福祉活動計画 策定のための市民アンケート)

## 結果報告書

令和5年3月

本庄市・本庄市社会福祉協議会

# 目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の概要.....	1
	(1) 調査目的.....	1
	(2) 調査対象及び調査方法.....	1
	(3) 配布数及び回収結果.....	1
2	本調査報告書の基本的な事項.....	1
	(1) 数値の基本的な取り扱いについて.....	1
II	調査結果.....	2
1	調査回答者について.....	2
	(1) 調査回答者.....	2
2	調査対象者について.....	2
	(1) 性別.....	2
	(2) 年齢.....	3
	(3) 居住年数.....	3
	(4) 居住地区.....	4
	(5) 自治会（町内会）の加入状況.....	5
	(6) 主な職業.....	6
	(7) 家族構成.....	7
	(8) 住まいの形態.....	8
	(9) 幸福度.....	9
3	福祉について.....	10
	(1) 福祉への関心.....	10
	(2) 本庄市の暮らしやすさ.....	11
	(3) 困りごとや心配ごとの解決方法として望ましいもの.....	12
	(4) ヤングケアラーの認知度.....	13
4	地域のつながりについて.....	14
	(1) 思い浮かべる地域の範囲.....	14
	(2) 地域のよいところ.....	15
	(3) 近所付き合いの程度.....	17
	(4) 今後の近所付き合いに関する意向.....	18
	(5) 暮らしの中で感じる悩みや不安.....	19

(6) 悩みや不安を感じたとき気軽に相談できる人や場所 .....	21
(7) 地域での課題 .....	23
(8) 地域づくりを進めるために有効だと思う方法 .....	25
(9) 近所の人にサポートしてほしいこと .....	27
(10) 隣近所のサポートが必要な家庭に対してできること .....	29
(11) 地域で住民中心の福祉活動を行うための組織の必要性 .....	31
5 災害への備えなどについて .....	32
(1) 災害に対して不安を感じる程度 .....	32
(2) 災害に対して備えていること .....	33
(3) 災害時に住民が支えあう地域づくりに必要なこと .....	35
6 権利や財産を守る取り組みについて .....	37
(1) 身の回りに判断能力に不安を抱える人はいるか .....	37
(2) 日常生活自立支援事業の認知状況 .....	38
(3) 成年後見制度の認知状況 .....	39
(4) 市民後見人の活動に関心はあるか .....	40
7 地域活動について .....	41
(1) 参加している地域活動 .....	41
(2) 今後地域活動に参加したい程度 .....	43
(3) 参加しやすいと思う地域活動の条件 .....	45
(4) 助け合い、支え合い活動の活発化のために重要なこと .....	47
(5) 今後してみたい地域活動 .....	49
(6) 地域活動や福祉サービスに関する情報の入手先 .....	51
(7) 民生委員・児童委員制度の認知状況 .....	53
(8) 地区の民生委員・児童委員が誰か知っているか .....	54
(9) 本庄市社会福祉協議会の認知状況 .....	55
(10) 社会福祉協議会が会員制度であることの認知状況 .....	57
(11) 社会福祉協議会に期待すること .....	58
(12) 住民と行政の協力関係 .....	60
(13) SDGs の認知状況 .....	61

# I 調査の概要

## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

本調査は、新たな「本庄市地域福祉計画・本庄市地域福祉活動計画」の策定にあたって、市民の生活課題や地域に対する考え方などを把握し、計画づくりの基礎資料とすることを目的として実施した。

### (2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	18 歳以上の市民
配布数	3,000 票
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送による配布／郵送・Web による回収
調査時期	令和4年11月
調査地域	本庄市全域

### (3) 配布数及び回収結果

配布数	3,000
有効回収数	1,296
有効回収率	43.2%

## 2 本調査報告書の基本的な事項

### (1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。  
従って、合計が100%を上下する場合もある。
- ②基数となるべき実数は、“n＝〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問である。従って、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

## Ⅱ 調査結果

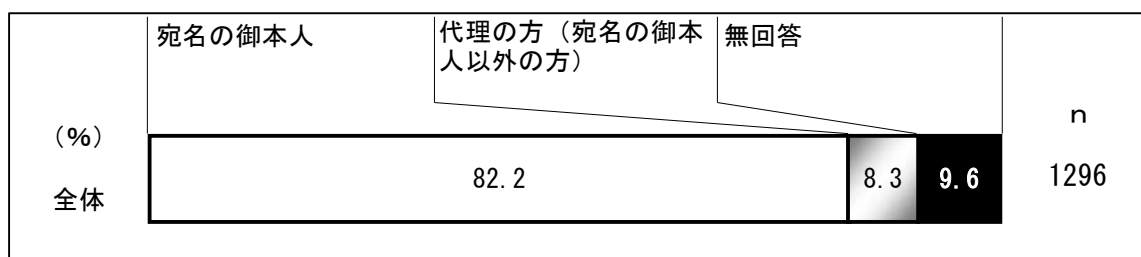
### 1 調査回答者について

#### (1) 調査回答者

問1 アンケートを記入しているのはどなたですか。

調査回答者については、「宛名の御本人」が 82.2%、「代理の方（宛名の御本人以外の方）」が 8.3%となっている。

図表 調査回答者（全体）



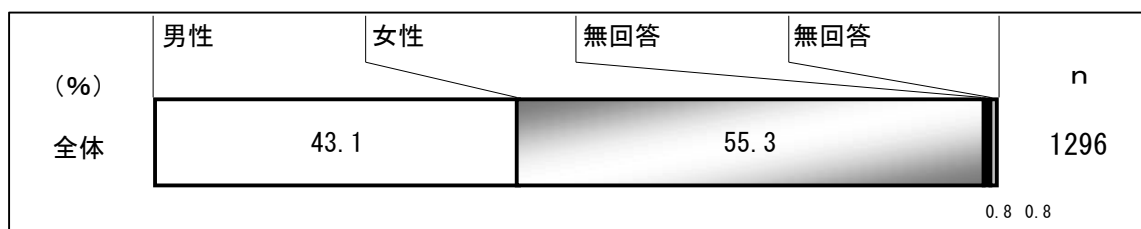
### 2 調査対象者について

#### (1) 性別

問2 性別をお答えください。

性別については、「女性」が 55.3%、「男性」が 43.1%、「無回答」が 0.8%<sup>1</sup>となっている。

図表 性別（全体）



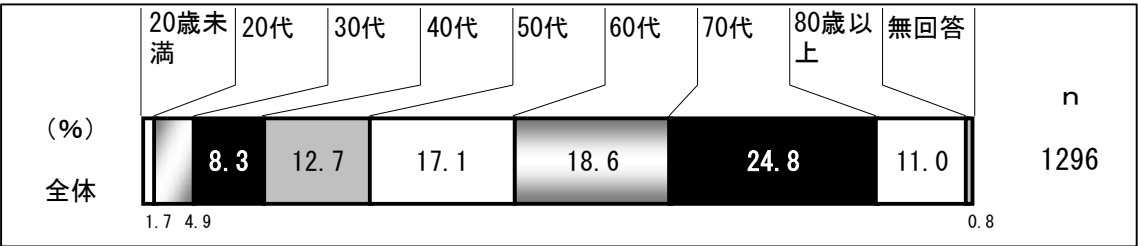
<sup>1</sup> 選択肢「無回答」を選んだ回答者の割合であり、実際の回答が存在しないものとは異なる。

(2) 年齢

問3 年齢をお答えください。

年齢については、「70代」が24.8%、「60代」が18.6%、「50代」が17.1%、「40代」が12.7%、「80歳以上」が11.0%、「30代」が8.3%、「20代」が4.9%、「20歳未満」が1.7%となっている。

図表 年齢（全体）

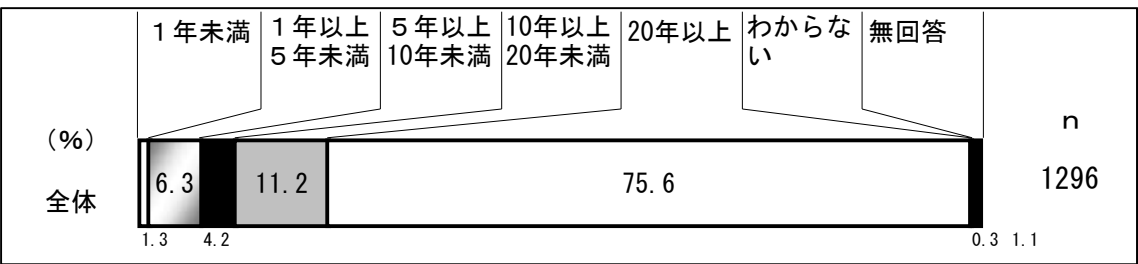


(3) 居住年数

問4 本庄市に何年住んでいますか。

居住年数については、「20年以上」が75.6%、「10年以上20年未満」が11.2%、「1年以上5年未満」が6.3%、「5年以上10年未満」が4.2%、「1年未満」が1.3%、「わからない」が0.3%となっている。

図表 居住年数（全体）

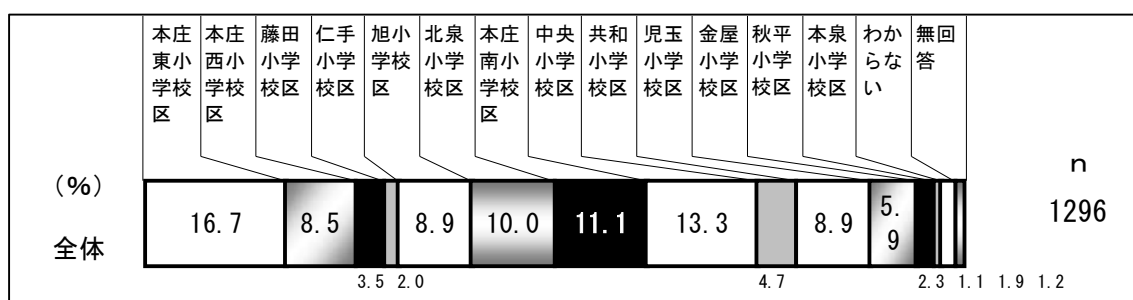


#### (4) 居住地区

問5 お住まいの小学校区をお答えください。

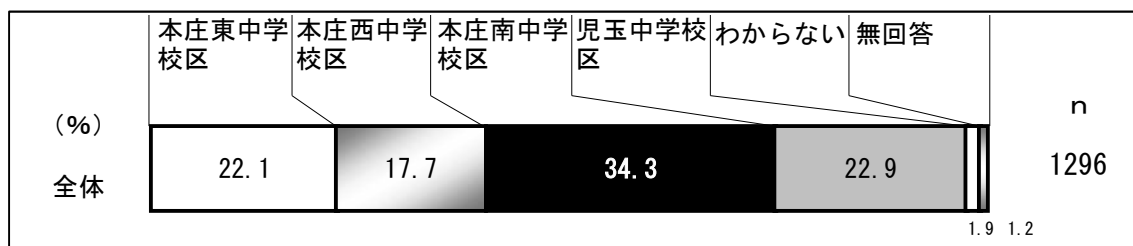
居住地区については、「本庄東小学校区」が 16.7%、「中央小学校区」が 13.3%、「本庄南小学校区」が 11.1%、「北泉小学校区」が 10.0%、「旭小学校区」・「児玉小学校区」が同率で 8.9%、「本庄西小学校区」が 8.5%、「金屋小学校区」が 5.9%、「共和小学校区」が 4.7%、「藤田小学校区」が 3.5%、「秋平小学校区」が 2.3%、「仁手小学校区」が 2.0%、「本泉小学校区」が 1.1%、「わからない」が 1.9%となっている。

図表 居住地区（小学校区・全体）



中学校区で区分<sup>2</sup>すると、「本庄南中学校区」34.3%、「児玉中学校区」が 22.9%、「本庄東中学校区」が 22. %、「本庄西中学校区」が 17.7%、「わからない」が 1.9%となっている。

図表 居住地区（中学校区・全体）



<sup>2</sup> 厳密な中学校区の区分によらない。

## (5) 自治会（町内会）の加入状況

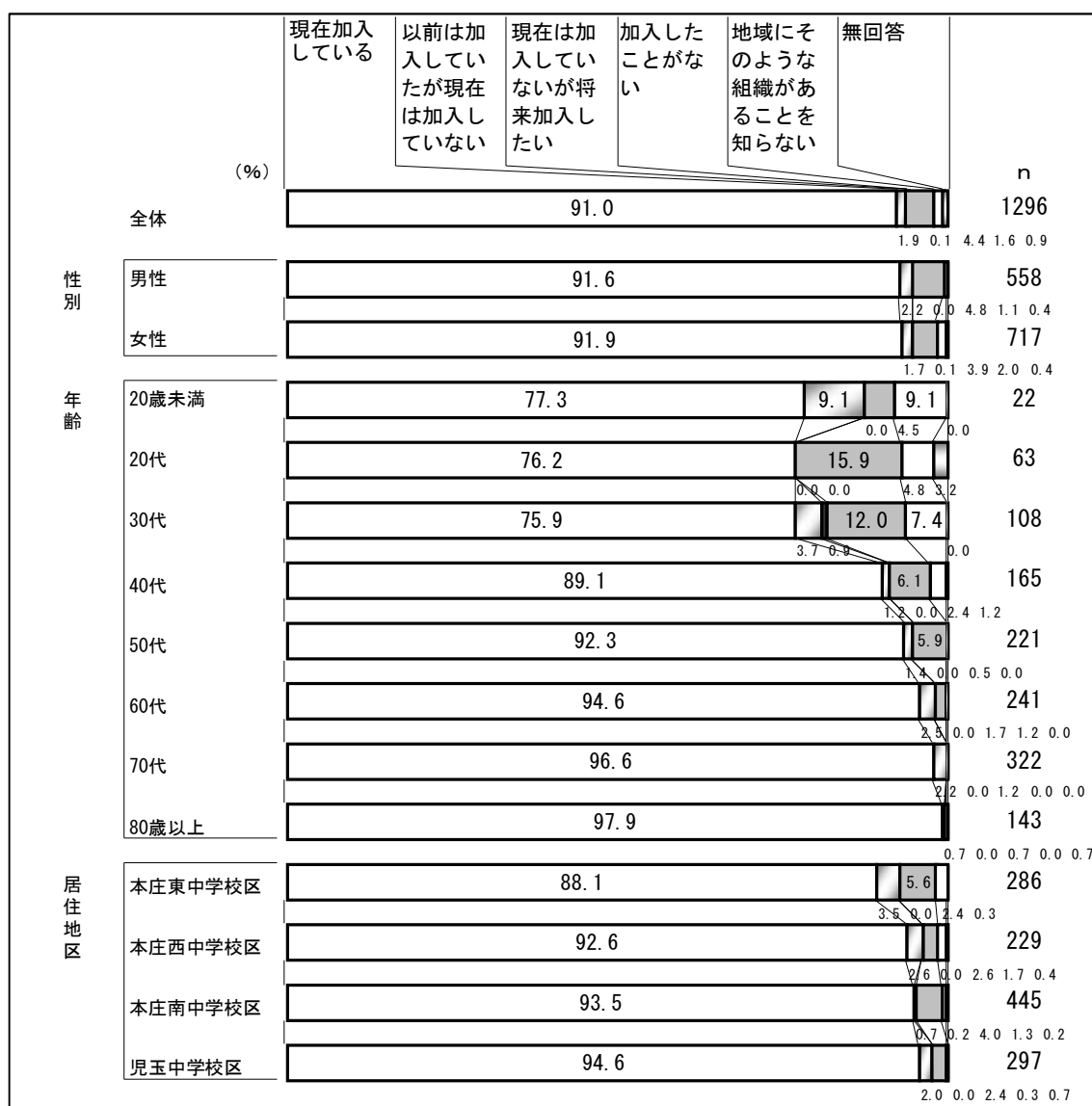
問6 あなたの世帯は、自治会（町内会）に加入していますか。

- 「現在加入している」が9割強を占める。

自治会（町内会）の加入状況については、「現在加入している」が91.0%、「加入したことがない」が4.4%、「以前は加入していたが現在は加入していない」が1.9%、「地域にそのような組織があることを知らない」が1.6%、「現在は加入していないが将来加入したい」が0.1%となっている。

年齢で見ると、30代以下では「現在加入している」がいずれも8割に満たない。

図表 自治会（町内会）の加入状況（全体・属性別）





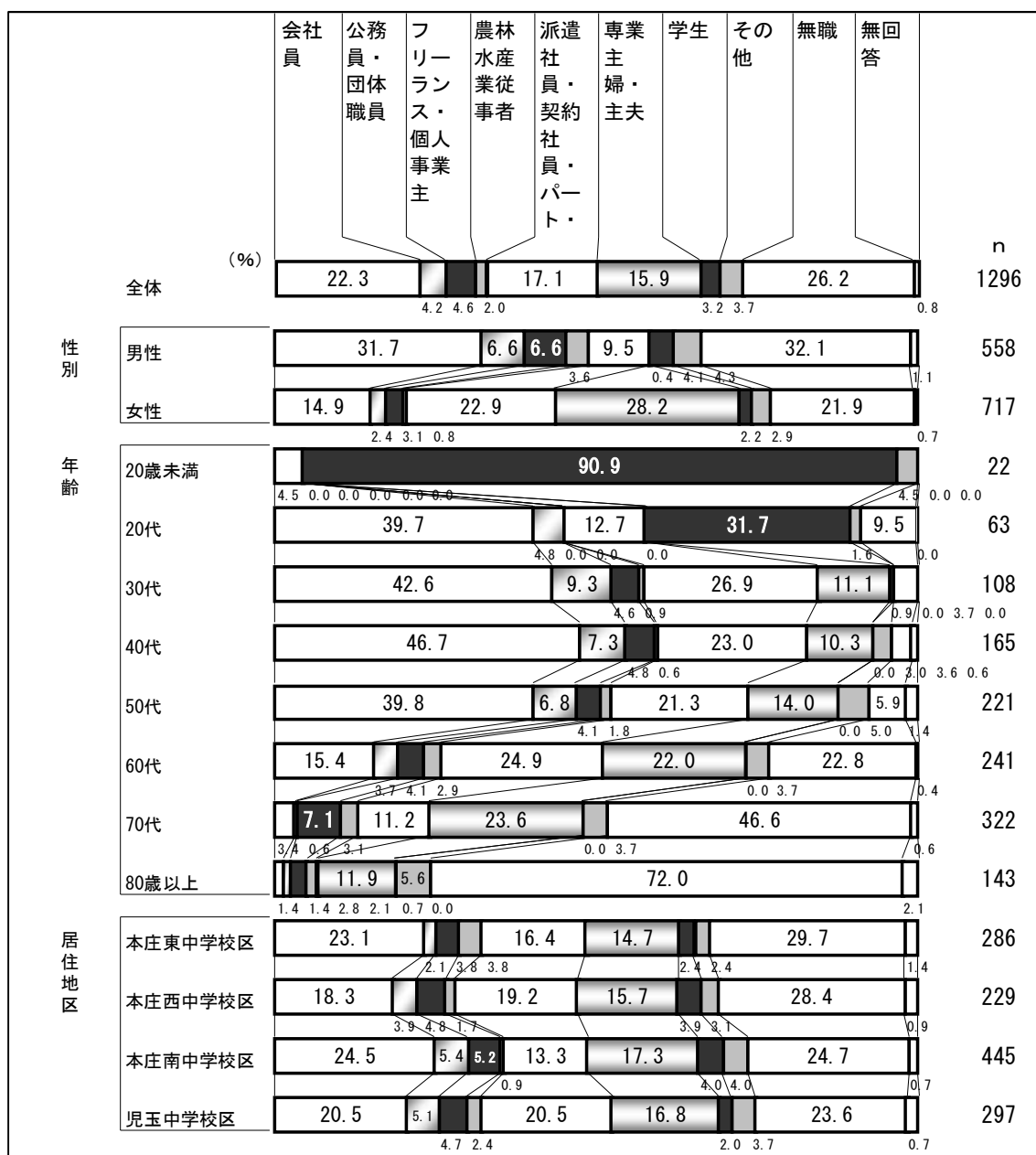
## (6) 主な職業

問7 主な職業を選んでください。

- 「無職」が3割弱、「会社員」が2割強を占める。

主な職業については、「会社員」が22.3%、「派遣社員・契約社員・パート・アルバイト」が17.1%、「専業主婦・主夫」が15.9%、「フリーランス・個人事業主」が4.6%、「公務員・団体職員」が4.2%、「学生」が3.2%、「農林水産業従事者」が2.0%、「その他」が3.7%、「無職」が26.2%となっている。

図表 主な職業（全体・属性別）



## (7) 家族構成

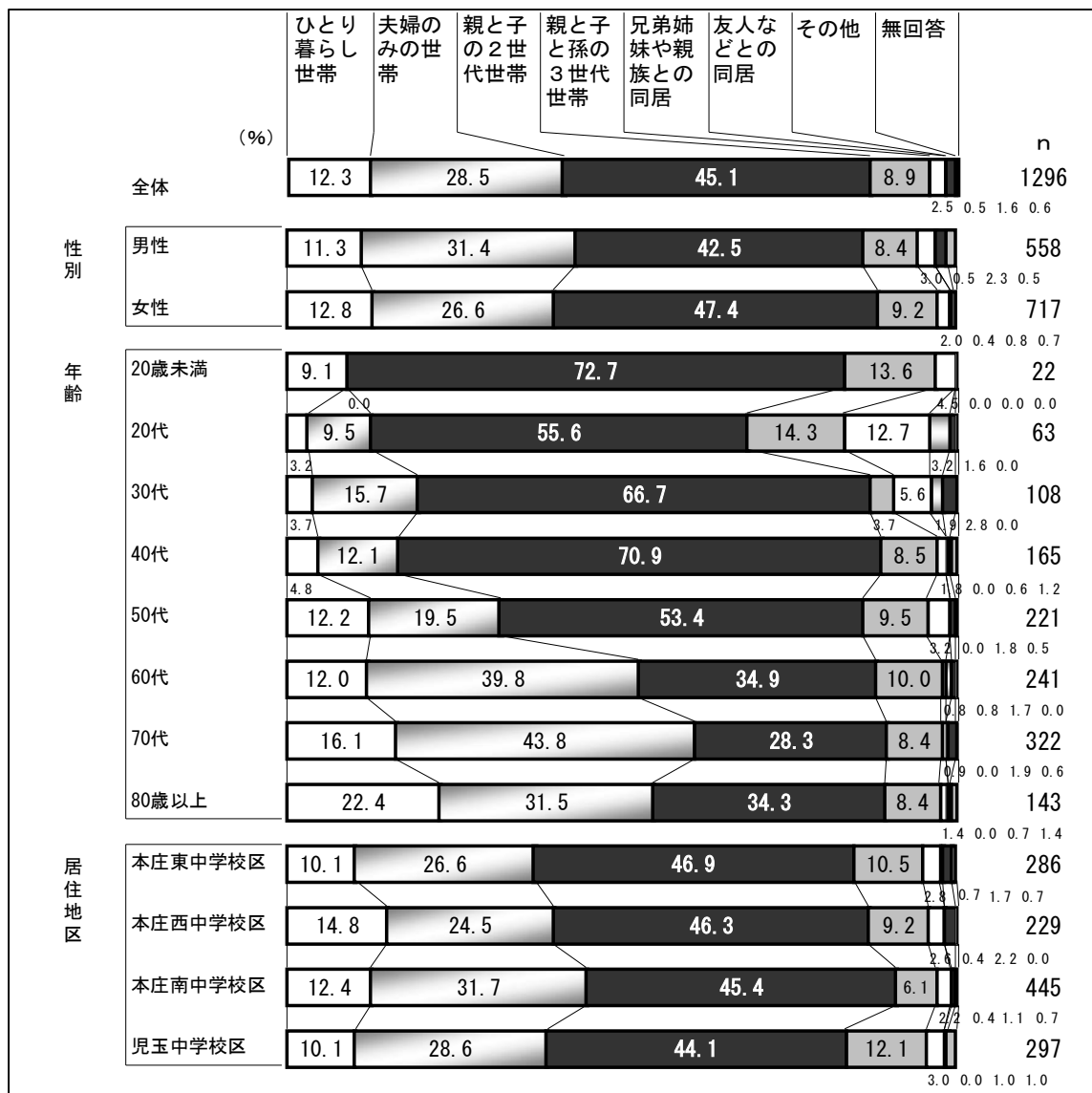
問8 家族構成を教えてください。

- 「親と子の2世代世帯」が5割弱、「夫婦のみの世帯」が3割弱を占める。

家族構成については、「親と子の2世代世帯」が45.1%、「夫婦のみの世帯」が28.5%、「ひとり暮らし世帯」12.3%、「親と子と孫の3世代世帯」が8.9%、「兄弟姉妹や親族との同居」が2.5%、「友人などとの同居」が0.5%、「その他」が1.6%となっている。

居住地区でみると、本庄南中学校区では「夫婦のみ世帯」が31.7%と、他の地区よりも高くなっている。

図表 家族構成（全体・属性別）

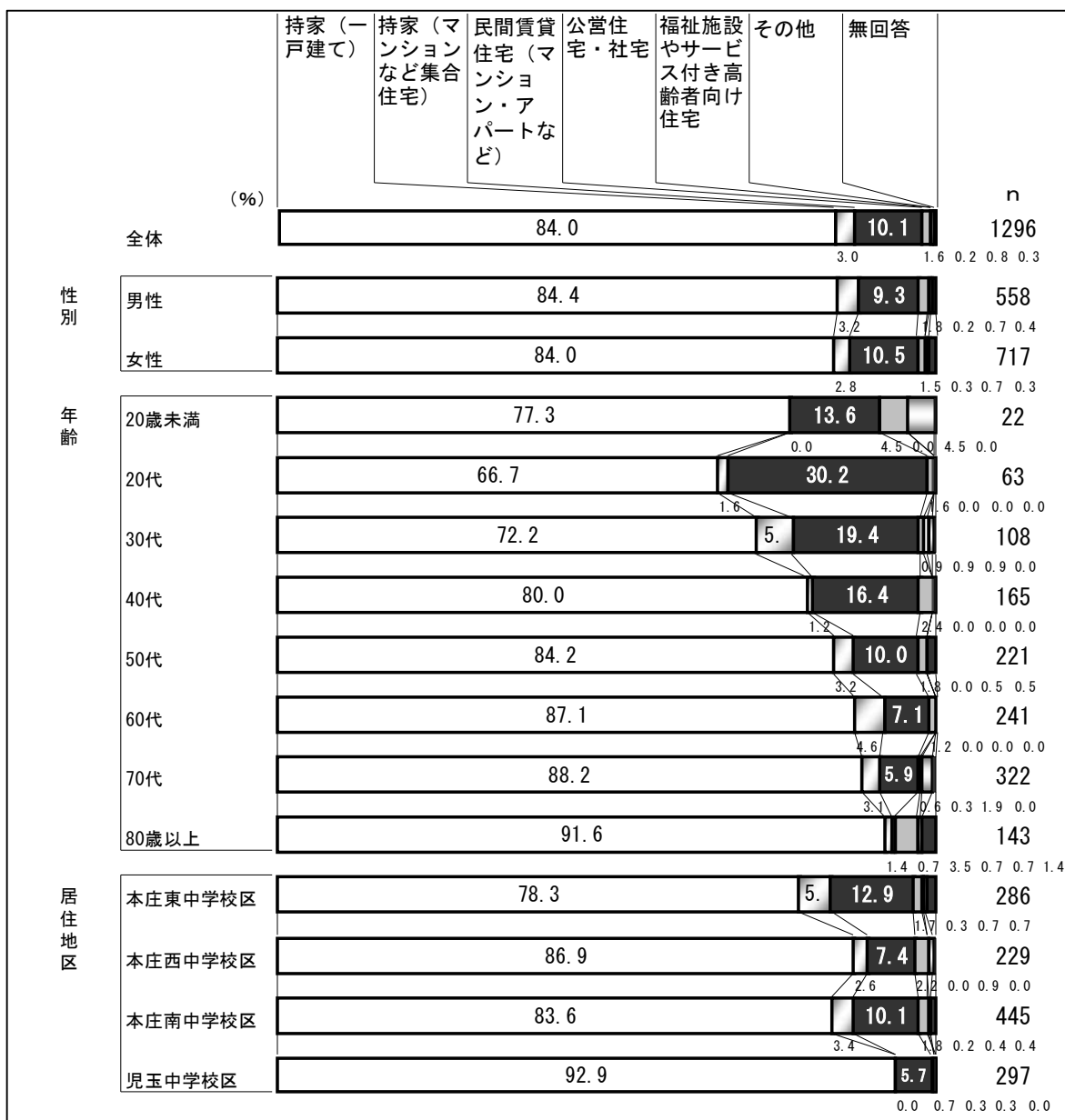


## (8) 住まいの形態

問9 お住まいの形態は、どれに該当しますか。

住まいの形態については、「持家（一戸建て）」が 84.0%、「民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）」が 10.1%、「持家（マンションなど集合住宅）」が 3.0%、「公営住宅・社宅」が 1.6%、「福祉施設やサービス付き高齢者向け住宅」が 0.2%、「その他」が 0.8%となっている。

図表 住まいの形態（全体・属性別）



## (9) 幸福度

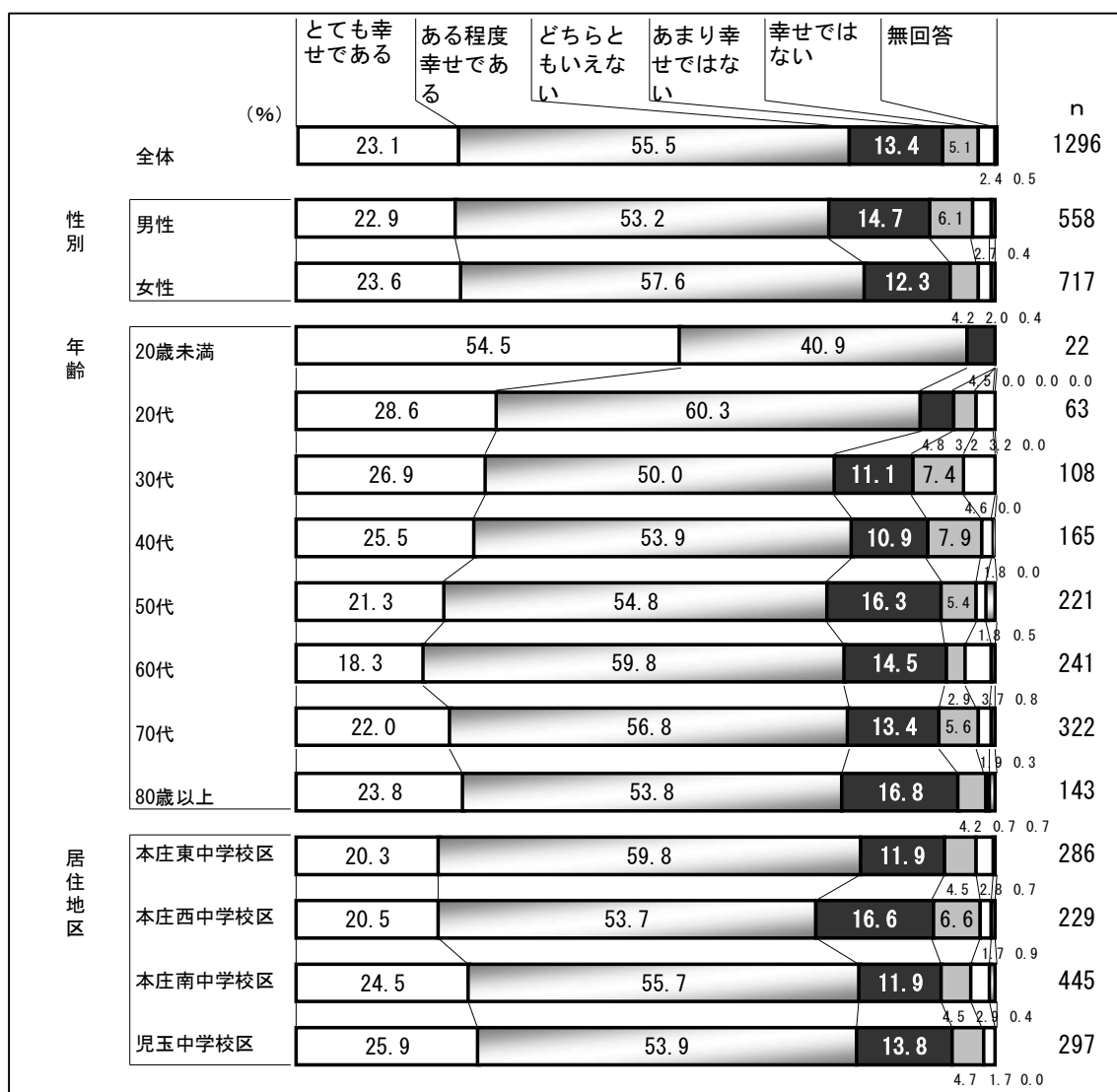
問 10 現在どの程度幸せだと感じていますか。

- “幸せである” が8割弱を占める。“幸せではない” は1割に満たない。

幸福度については、「とても幸せである」(23.1%)と「ある程度幸せである」(55.5%)を合わせた“幸せである”が78.6%、「あまり幸せではない」(5.1%)と「幸せではない」(2.4%)を合わせた“幸せではない”が7.5%、「どちらともいえない」が13.4%となっている。

年齢でみると、30代以降よりも20代以下では“幸せである”の割合が高くなっている。

図表 幸福度（全体・属性別）



### 3 福祉について

#### (1) 福祉への関心

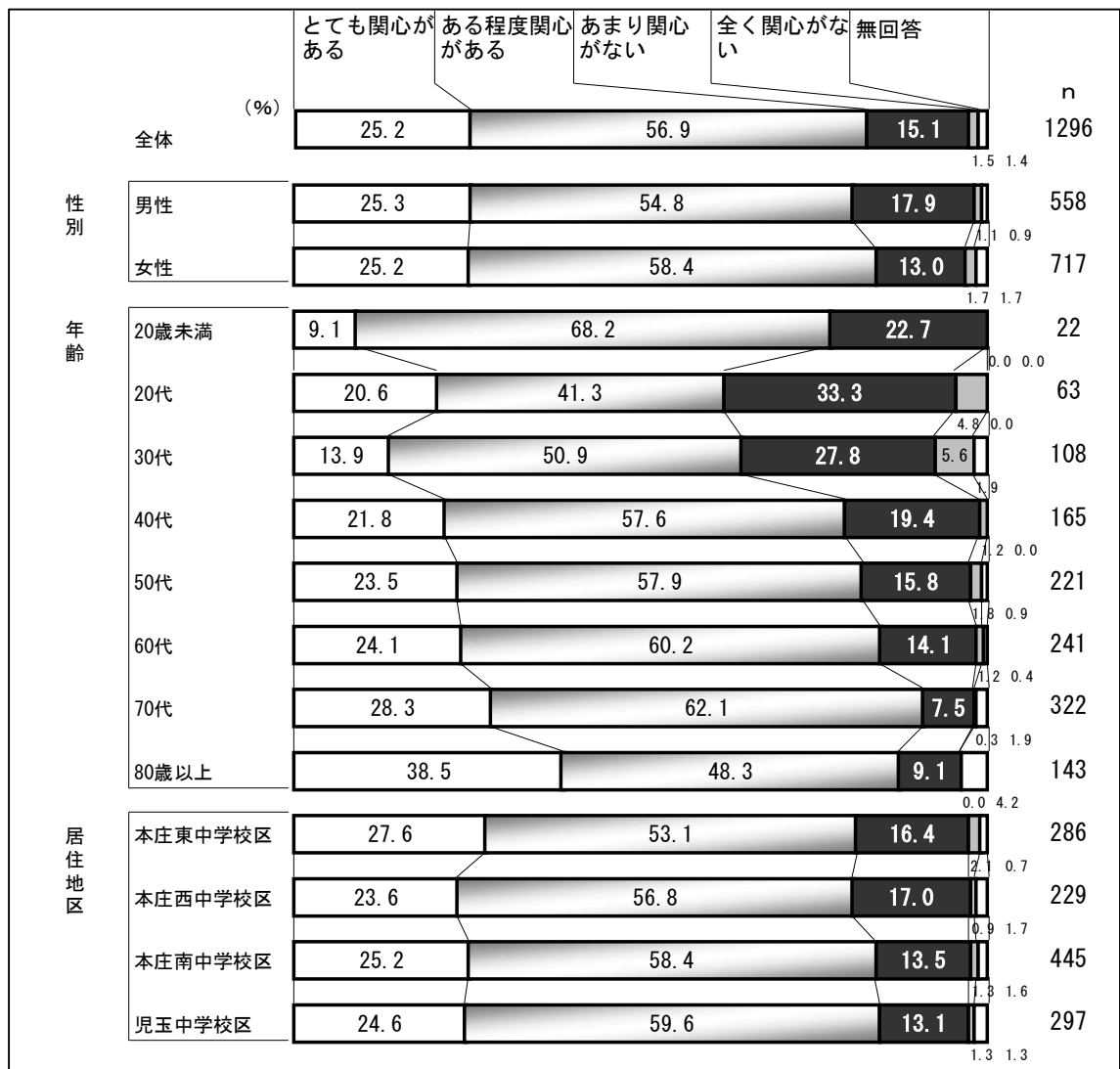
問 11 福祉に関心はありますか。

- “関心がある” が8割強、“関心がない” が2割弱を占める。

福祉への関心については、「とても関心がある」(25.2%)と「ある程度関心がある」(56.9%)を合わせた“関心がある”が82.1%、「あまり関心がない」(15.1%)と「全く関心がない」(1.5%)を合わせた“関心がない”が16.6%となっている。

年齢でみると、20代と30代では“関心がある”の割合が他の年齢層と比べて低く、6割台にとどまっている。

図表 福祉への関心（全体・属性別）



## (2) 本庄市の暮らしやすさ

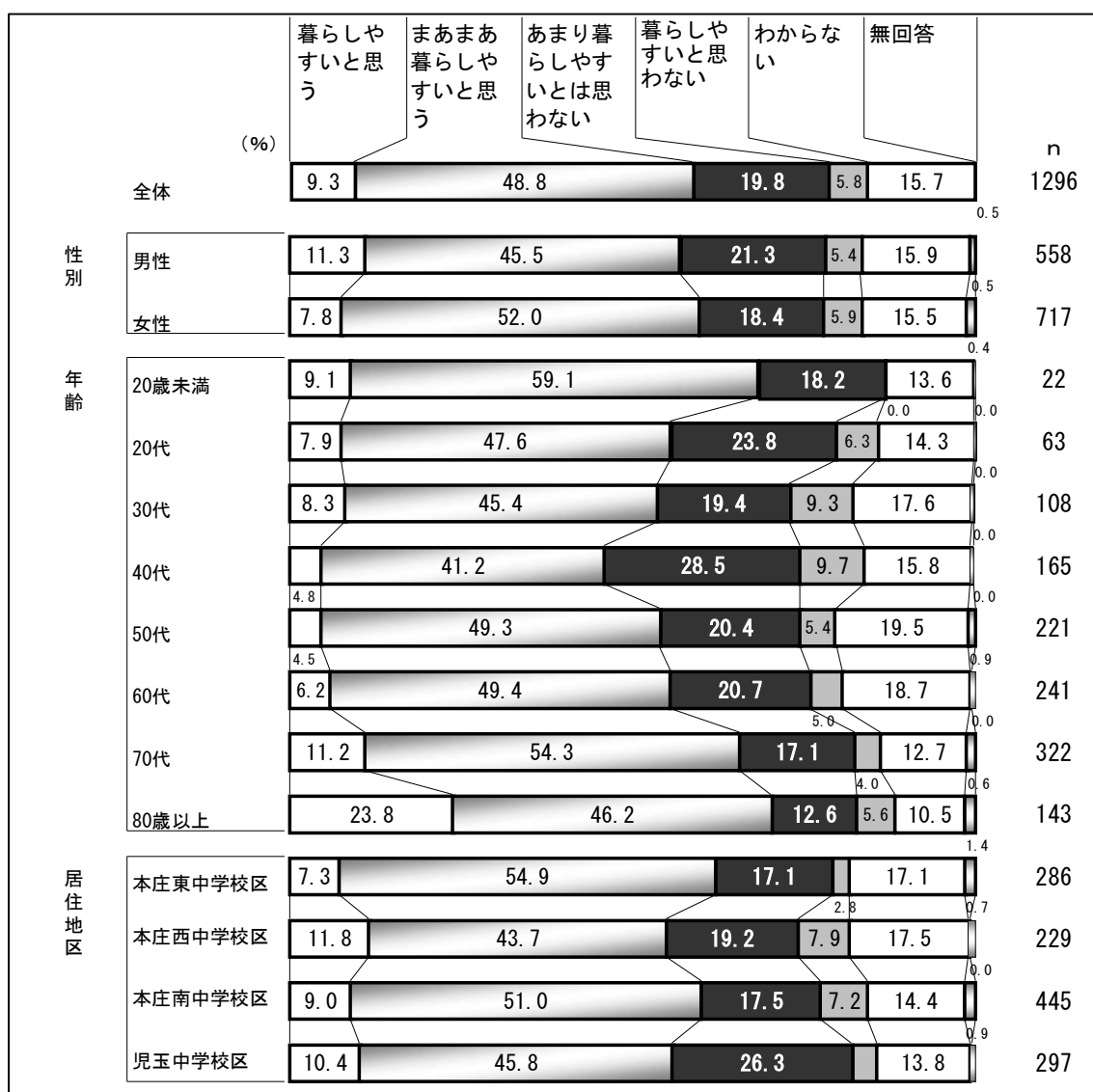
問 12 本庄市は子どもや高齢者、障害のある人、外国籍の人など、誰にとっても暮らしやすいまちだと思いますか。

- “暮らしやすい” が6割弱、“暮らしやすくない” が3割弱を占める。

本庄市の暮らしやすさについては、「暮らしやすいと思う」(9.3%)と「まあまあ暮らしやすいと思う」(48.8%)を合わせた“暮らしやすい”が58.1%、「あまり暮らしやすいとは思わない」(19.8%)と「暮らしやすいとは思わない」(5.8%)を合わせた“暮らしやすくない”が25.6%、「わからない」(15.7%)となっている。

年齢でみると、“暮らしやすくない”の割合は40代をピークに高くなっている。

図表 本庄市の暮らしやすさ（全体・属性別）



### (3) 困りごとや心配ごとの解決方法として望ましいもの

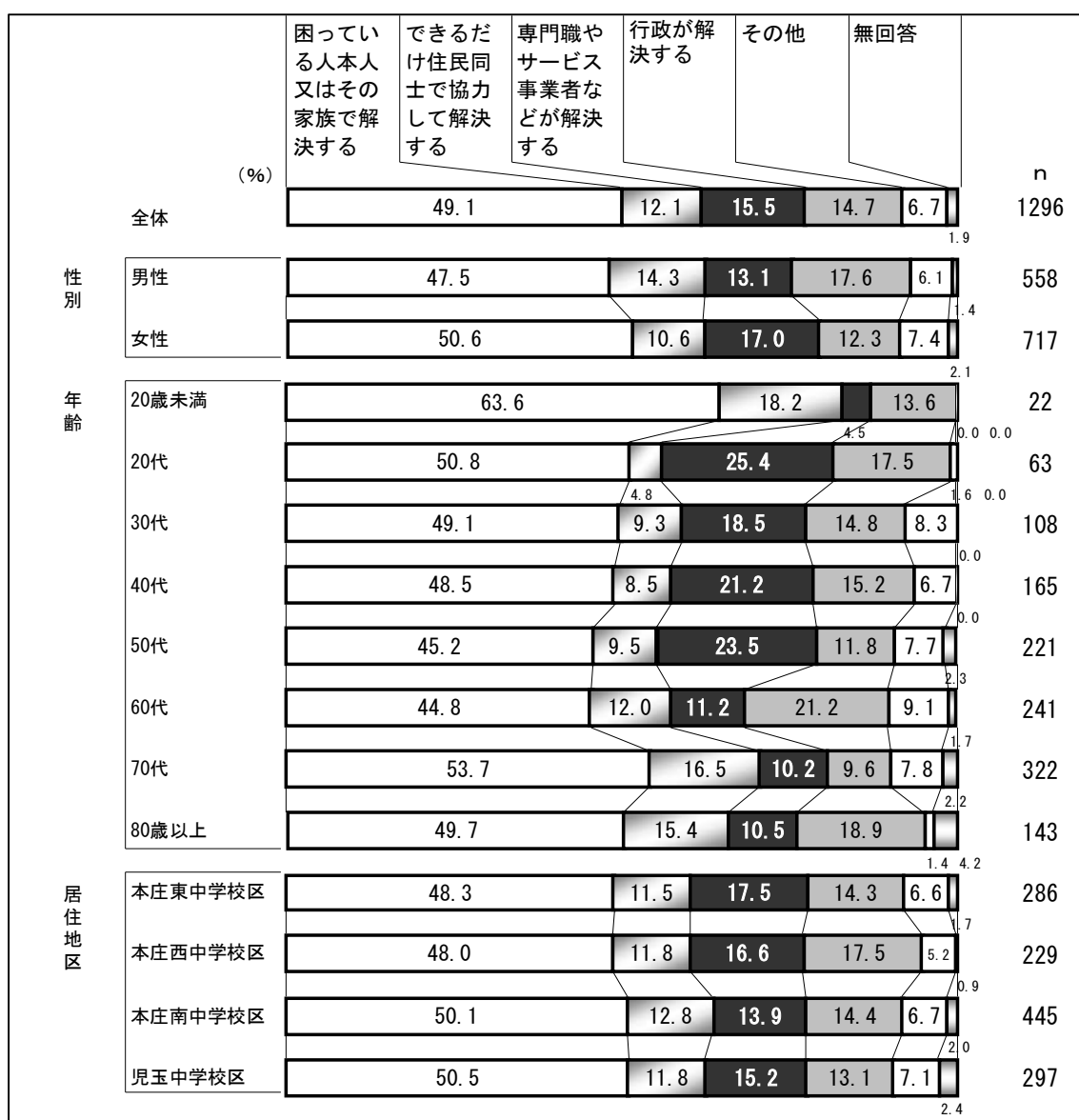
問 13 毎日の暮らしの中で起こる困りごとや心配ごとを、どのような方法で解決することが望ましいと思いますか。

- 「困っている本人又はその家族で解決する」が5割弱を占める。

困りごとや心配ごとの解決方法として望ましいものについては、「困っている人本人又はその家族で解決する」が 49.1%、「専門職やサービス事業者などが解決する」が 15.5%、「行政が解決する」が 14.7%、「できるだけ住民同士で協力して解決する」が 12.1%、「その他」が 6.7%となっている。

年齢でみると、20代では「専門職やサービス事業者などが解決する」が 25.4%と他の属性よりも高くなっている。

図表 困りごとや心配ごとの解決方法として望ましいもの（全体・属性別）



#### (4) ヤングケアラーの認知度

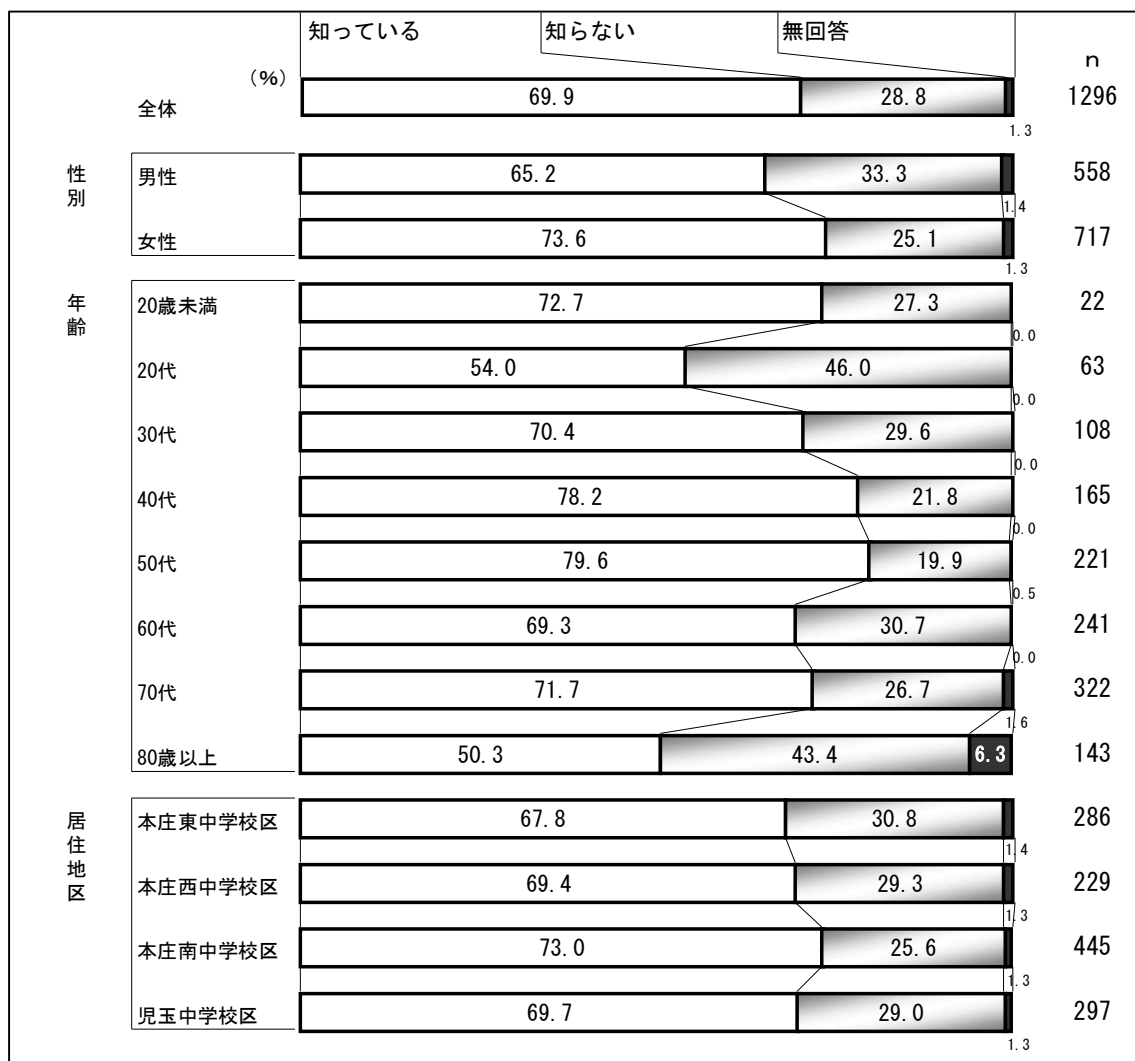
問 14 ヤングケアラーについて御存じですか。

- 「知っている」が7割弱、「知らない」が3割弱を占める。

ヤングケアラーの認知度については、「知っている」が 69.9%、「知らない」が 28.8% となっている。

年齢で見ると、20 代と 80 歳以上では「知らない」の割合が他の属性と比べて高く、4割台を占めている。

図表 ヤングケアラーの認知度（全体・属性別）





## 4 地域のつながりについて

### (1) 思い浮かべる地域の範囲

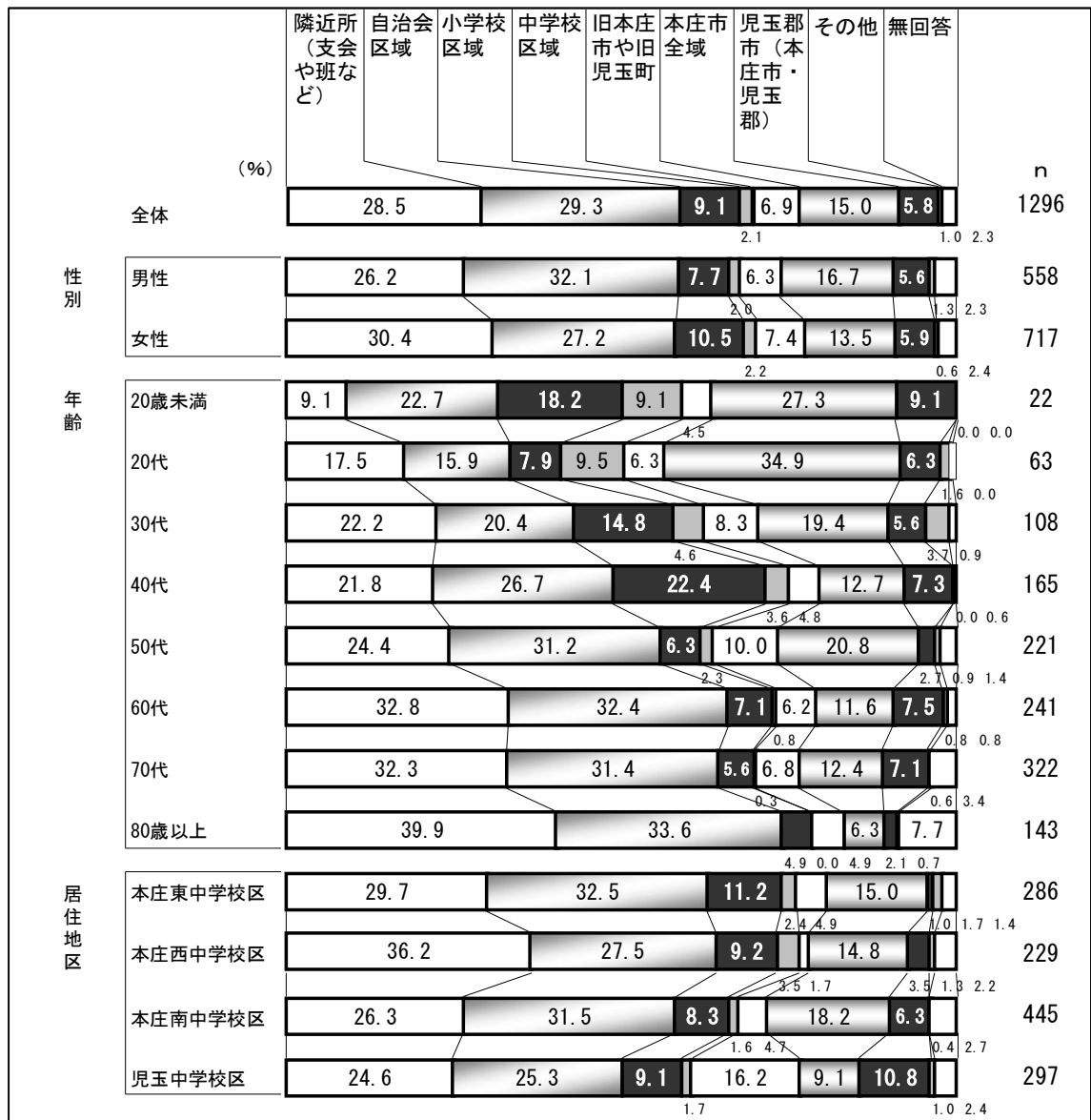
問 15 あなたが思い浮かべる地域の範囲を教えてください。

- 「自治会区域」と「隣近所（(支会や班など)」がともに3割弱を占める。

思い浮かべる地域の範囲については、「自治会区域」が 29.3%、「隣近所（支会や班など）」が 28.5%、「本庄市全域」が 15.0%、「小学校区域」が 9.1%、「旧本庄市や旧児玉町」が 6.9%、「児玉郡市（本庄市・児玉郡）」が 5.8%、「中学校区域」が 2.1%、「その他」が 1.0%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて範囲が小さくなる傾向がうかがえる。

図表 思い浮かべる地域の範囲（全体・属性別）



## (2) 地域のよいところ

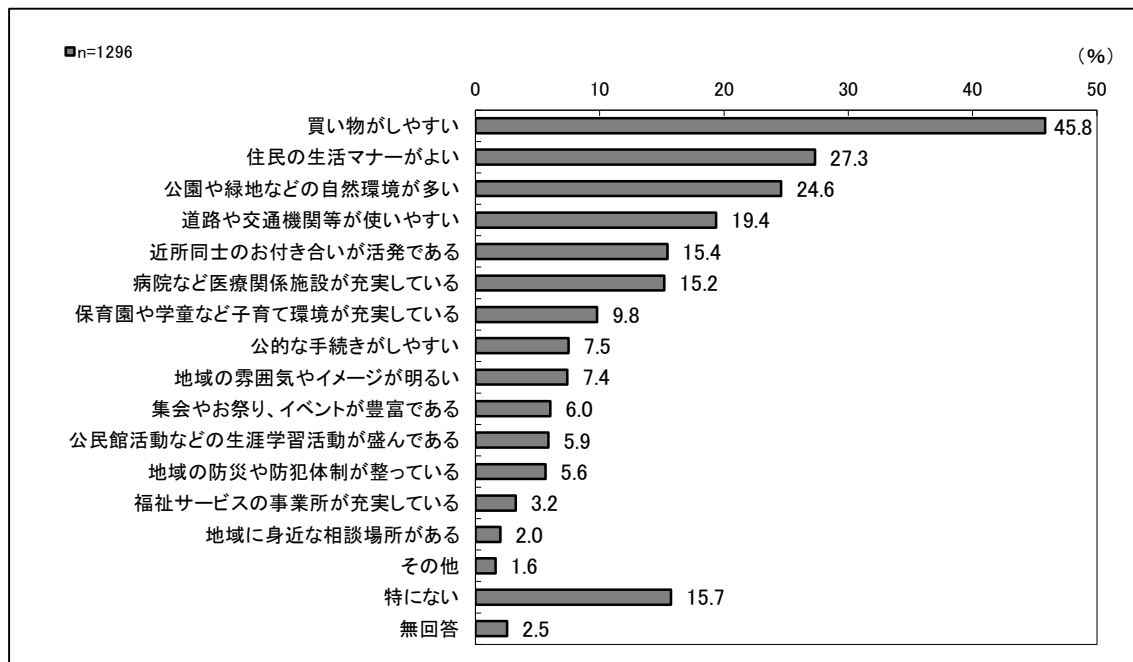
問 16 お住まいの地域のよいところはどこですか。【複数回答】

- 「買い物がしやすい」が第1位。「住民の生活マナーがよい」、「公園や緑地などの自然環境が多い」などが続く。

地域のよいところについては、「買い物がしやすい」(45.8%)が最も多く、次いで「住民の生活マナーがよい」(27.3%)、「公園や緑地などの自然環境が多い」(24.6%)、「道路や交通機関等が使いやすい」(19.4%)、「近所同士のお付き合いが活発である」(15.4%)、「病院など医療関係施設が充実している」(15.2%)、「保育園や学童など子育て環境が充実している」(9.8%)、「公的な手続きがしやすい」(7.5%)、「地域の雰囲気やイメージが明るい」(7.4%)、「集会やお祭り、イベントが豊富である」(6.0%)、「公民館活動などの生涯学習活動が盛んである」(5.9%)、「地域の防災や防犯体制が整っている」(5.6%)、「福祉サービスの事業所が充実している」(3.2%)、「地域に身近な相談場所がある」(2.0%)、「その他」(1.6%)などとなっている。なお、「特にない」は15.7%となっている。

居住地区でみると、児玉中学校区では「住民の生活マナーがよい」が第1位となっている。

図表 地域のよいところ（全体／複数回答）



図表 地域のよいところ（全体・属性別－上位３項目／複数回答）

		第１位	第２位	第３位
全体		買い物がしやすい 45.8%	住民の生活マナーがよい 27.3%	公園や緑地などの自然環境が多い 24.6%
性別	男性	買い物がしやすい 45.2%	住民の生活マナーがよい 29.0%	公園や緑地などの自然環境が多い 24.2%
	女性	買い物がしやすい 46.7%	住民の生活マナーがよい 26.4%	公園や緑地などの自然環境が多い 25.2%
年齢	20 歳未満	買い物がしやすい 54.5%	住民の生活マナーがよい／道路や交通機関等が使いやすい／公園や緑地などの自然環境が多い 27.3%	
	20 代	買い物がしやすい 54.0%	公園や緑地などの自然環境が多い 42.9%	道路や交通機関等が使いやすい 34.9%
	30 代	買い物がしやすい 50.9%	住民の生活マナーがよい 32.4%	公園や緑地などの自然環境が多い 21.3%
	40 代	買い物がしやすい 50.9%	住民の生活マナーがよい 25.5%	公園や緑地などの自然環境が多い 24.8%
	50 代	買い物がしやすい 48.0%	公園や緑地などの自然環境が多い 27.1%	住民の生活マナーがよい 26.7%
	60 代	買い物がしやすい 45.2%	住民の生活マナーがよい 27.4%	公園や緑地などの自然環境が多い 19.1%
	70 代	買い物がしやすい 44.7%	住民の生活マナーがよい 29.5%	公園や緑地などの自然環境が多い 27.3%
	80 歳以上	買い物がしやすい 32.2%	近所同士のお付き合いが活発である 26.6%	住民の生活マナーがよい 23.8%
居住地区	本庄東 中学校区	買い物がしやすい 52.1%	住民の生活マナーがよい 26.6%	近所同士のお付き合いが活発である 20.6%
	本庄西 中学校区	買い物がしやすい 44.1%	公園や緑地などの自然環境が多い 28.4%	住民の生活マナーがよい 26.2%
	本庄南 中学校区	買い物がしやすい 53.7%	公園や緑地などの自然環境が多い 31.9%	住民の生活マナーがよい／道路や交通機関等が使いやすい 27.0%
	児玉 中学校区	住民の生活マナーがよい 30.3%	買い物がしやすい 30.0%	公園や緑地などの自然環境が多い 17.8%

### (3) 近所付き合いの程度

問 17 ふだん近所の人とどのようなお付き合いをしていますか。

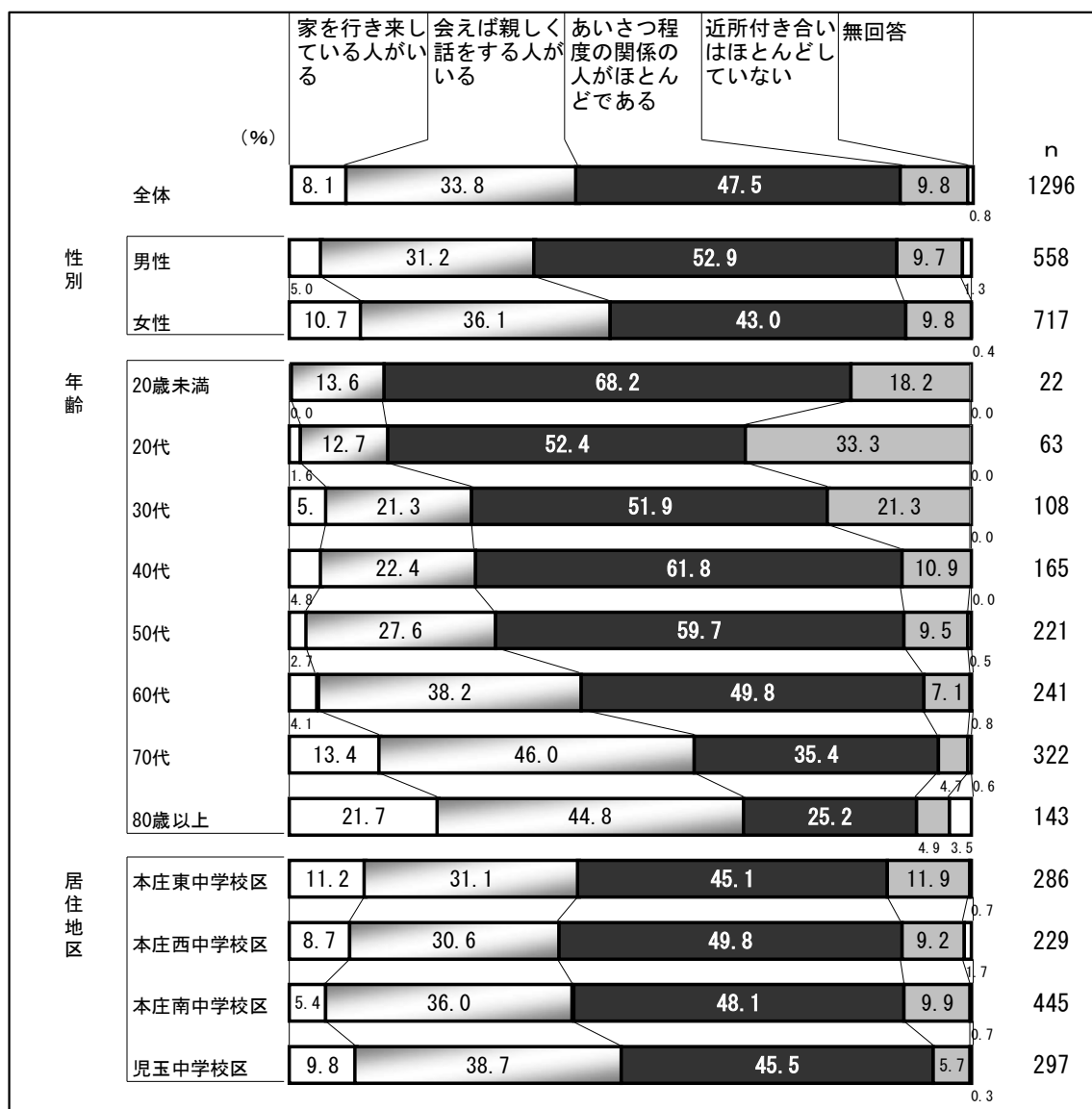
- 「あいさつ程度の関係の人がほとんどである」が5割弱、「会えば親しく話をする人がいる」が3割強を占める。

近所付き合いの程度については、「あいさつ程度の関係の人がほとんどである」が47.5%、「会えば親しく話をする人がいる」が33.8%、「近所付き合いはほとんどしていない」が9.8%、「家を行き来している人がいる」が8.1%となっている。

性別でみると、女性では男性と比べて深い近所付き合いをしている。

年齢でみると、高齢になるにつれて深い近所付き合いをしている傾向がうかがえる。

図表 近所付き合いの程度（全体・属性別）



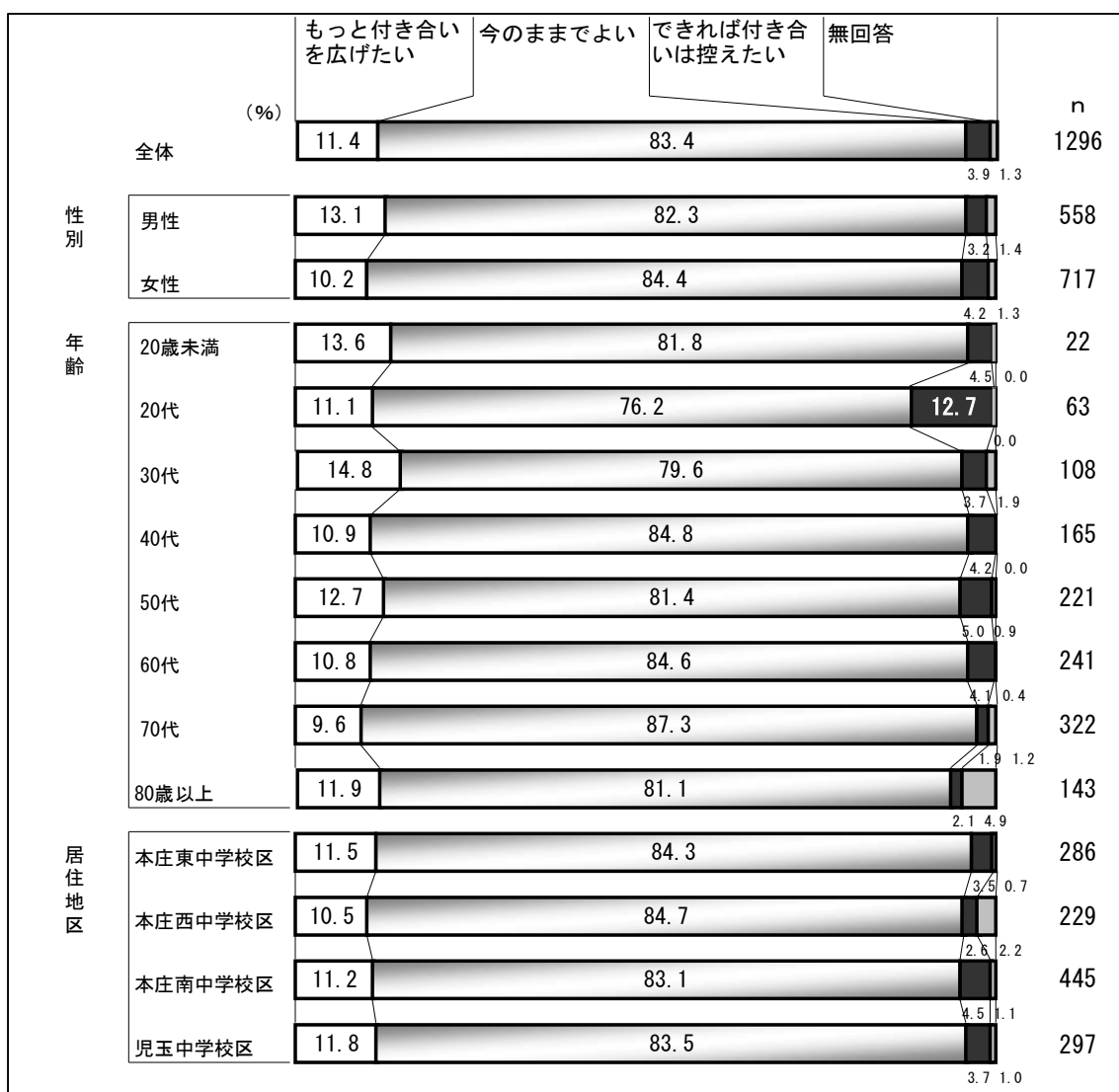
#### (4) 今後の近所付き合いに関する意向

問 18 近所の人とは、今後どのようなお付き合いをしていきたいと思いませんか。

- 「今のままでよい」が8割強、「もっと付き合いを広げたい」が1割強を占める。

今後の近所付き合いに関する意向については、「今のままでよい」が83.4%、「もっと付き合いを広げたい」が11.4%、「できれば付き合いは控えたい」が3.9%となっている。いずれの属性でも「もっと付き合いを広げたい」は1割前後となっている。

図表 今後の近所付き合いに関する意向（全体・属性別）



## (5) 暮らしの中で感じる悩みや不安

問 19 毎日の暮らしの中でどのようなことに悩みや不安を感じていますか。【複数回答】

- 「老後に関すること」が第1位。「自分や家族の健康に関すること」、「感染症に関すること」などが続く。

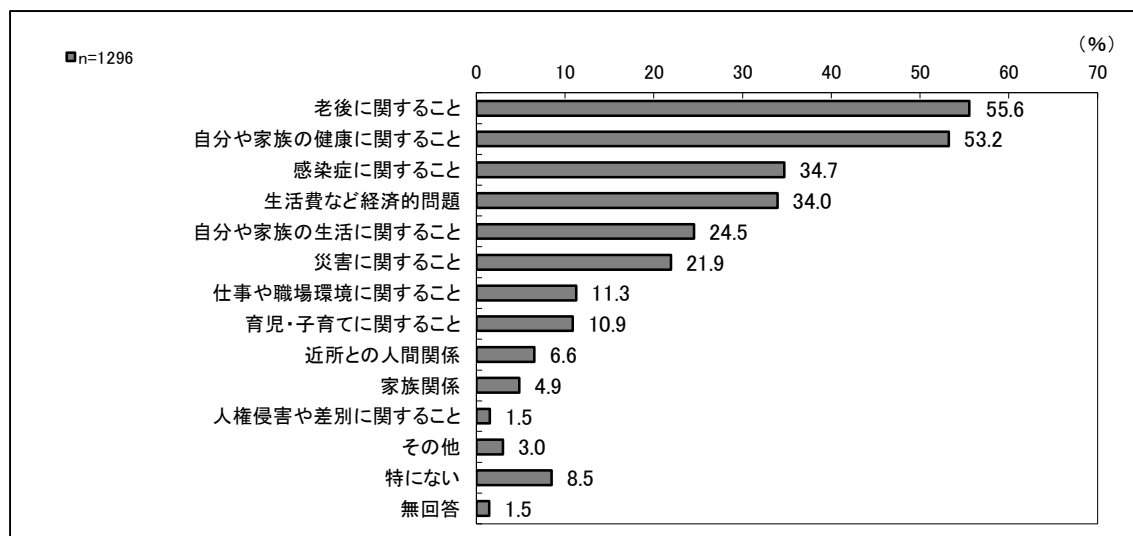
暮らしの中で感じる悩みや不安については、「老後に関すること」(55.6%)が最も多く、次いで「自分や家族の健康に関すること」(53.2%)、「感染症に関すること」(34.7%)、「生活費など経済的問題」(34.0%)、「自分や家族の生活に関すること」(24.5%)、「災害に関すること」(21.9%)、「仕事や職場環境に関すること」(11.3%)、「育児・子育てに関すること」(10.9%)、「近所との人間関係」(6.6%)、「家族関係」(4.9%)、「人権侵害や差別に関すること」(1.5%)、「その他」(3.0%)となっている。

なお、「特にない」は8.5%となっている。

性別でみると、男性では「自分や家族の健康に関すること」が第1位となっているのに対し、女性では「老後に関すること」が第1位となっている。

年齢でみると、20代と30代では「生活費など経済的問題」が第1位となっている。

図表 暮らしの中で感じる悩みや不安（全体／複数回答）



図表 暮らしの中で感じる悩みや不安（全体・属性別－上位3項目／複数回答）

		第1位	第2位	第3位
全体		老後に関すること 55.6%	自分や家族の健康に関すること 53.2%	感染症に関すること 34.7%
性別	男性	自分や家族の健康に関すること 55.7%	老後に関すること 54.7%	生活費など経済的問題 35.8%
	女性	老後に関すること 56.2%	自分や家族の健康に関すること 51.7%	感染症に関すること 36.4%
年齢	20歳未満	自分や家族の生活に関すること 36.4%	生活費など経済的問題 22.7%	感染症に関すること 18.2%
	20代	生活費など経済的問題 39.7%	自分や家族の生活に関すること 38.1%	老後に関すること 30.2%
	30代	生活費など経済的問題 50.9%	育児・子育てに関すること 46.3%	自分や家族の生活に関すること 38.9%
	40代	老後に関すること 51.5%	自分や家族の健康に関すること 49.1%	生活費など経済的問題 45.5%
	50代	老後に関すること 62.9%	自分や家族の健康に関すること 57.5%	感染症に関すること 35.7%
	60代	老後に関すること 68.5%	自分や家族の健康に関すること 57.7%	感染症に関すること 40.2%
	70代	自分や家族の健康に関すること 63.4%	老後に関すること 59.3%	感染症に関すること 37.0%
	80歳以上	老後に関すること 54.5%	自分や家族の健康に関すること 53.1%	感染症に関すること 31.5%
居住地区	本庄東中学校区	自分や家族の健康に関すること 57.0%	老後に関すること 55.9%	生活費など経済的問題 36.7%
	本庄西中学校区	老後に関すること 60.3%	自分や家族の健康に関すること 55.5%	感染症に関すること 36.2%
	本庄南中学校区	老後に関すること 53.7%	自分や家族の健康に関すること 52.4%	感染症に関すること 33.5%
	児玉中学校区	老後に関すること 54.2%	自分や家族の健康に関すること 50.8%	生活費など経済的問題 38.4%

## (6) 悩みや不安を感じたとき気軽に相談できる人や場所

問 20 悩みや不安を感じたとき、気軽に相談できる人や場所はありますか。【複数回答】

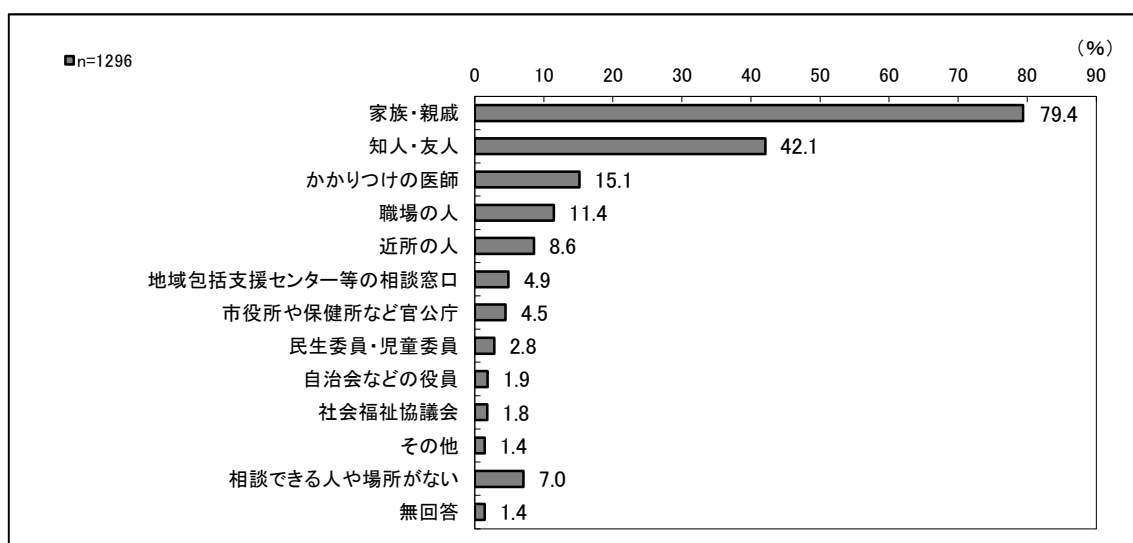


- 「家族・親戚」が他を大きく引き離して第1位。

悩みや不安を感じたとき気軽に相談できる人や場所については、「家族・親戚」(79.4%)が最も多く、次いで「知人・友人」(42.1%)、「かかりつけの医師」(15.1%)、「職場の人」(11.4%)、「近所の人」(8.6%)、「地域包括支援センター等の相談窓口」(4.9%)、「市役所や保健所など官公庁」(4.5%)、「民生委員・児童委員」(2.8%)、「自治会などの役員」(1.9%)、「社会福祉協議会」(1.8%)、「その他」(1.4%)となっている。なお、「相談できる人や場所がない」は7.0%となっている。

いずれの属性でも「家族・親戚」が第1位となっている。

図表 悩みや不安を感じたとき気軽に相談できる人や場所（全体／複数回答）





図表 悩みや不安を感じたとき気軽に相談できる人や場所  
(全体・属性別－上位3項目／複数回答)

		第1位	第2位	第3位
全体		家族・親戚 79.4%	知人・友人 42.1%	かかりつけの医師 15.1%
性別	男性	家族・親戚 77.4%	知人・友人 35.3%	かかりつけの医師 16.5%
	女性	家族・親戚 81.7%	知人・友人 47.6%	かかりつけの医師 14.2%
年齢	20歳未満	家族・親戚 77.3%	知人・友人 63.6%	職場の人／社会福祉協議会／かかりつけの医師 4.5%
	20代	家族・親戚 84.1%	知人・友人 57.1%	職場の人 23.8%
	30代	家族・親戚 86.1%	知人・友人 48.1%	職場の人 25.0%
	40代	家族・親戚 80.6%	知人・友人 46.7%	職場の人 23.6%
	50代	家族・親戚 82.8%	知人・友人 41.6%	職場の人 20.4%
	60代	家族・親戚 74.3%	知人・友人 42.7%	かかりつけの医師 15.8%
	70代	家族・親戚 80.1%	知人・友人 41.9%	かかりつけの医師 22.0%
	80歳以上	家族・親戚 76.2%	知人・友人 22.4%	かかりつけの医師 21.7%
居住地区	本庄東中学校区	家族・親戚 81.1%	知人・友人 37.8%	かかりつけの医師 15.0%
	本庄西中学校区	家族・親戚 75.1%	知人・友人 43.7%	かかりつけの医師 16.2%
	本庄南中学校区	家族・親戚 80.4%	知人・友人 44.0%	かかりつけの医師 13.7%
	児玉中学校区	家族・親戚 81.8%	知人・友人 42.1%	かかりつけの医師 16.5%

## (7) 地域での課題

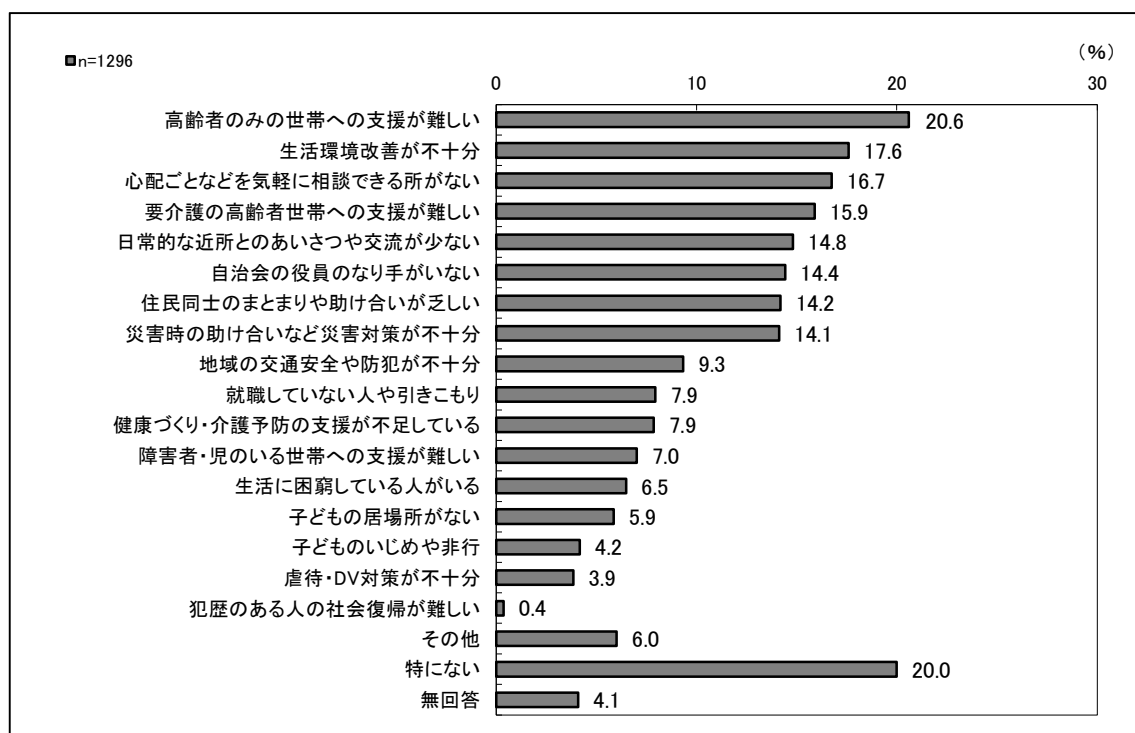
問 21 地域で今、何が課題だと感じていますか。【複数回答】

- 「高齢者のみの世帯への支援が難しい」が第1位。「特にない」は 20.0%を占める。

地域での課題については、「高齢者のみの世帯への支援が難しい」(20.6%)が最も多く、次いで「生活環境改善が不十分」(17.6%)、「心配ごとなどを気軽に相談できる所がない」(16.7%)、「要介護の高齢者世帯への支援が難しい」(15.9%)、「日常的な近所とのあいさつや交流が少ない」(14.8%)、「自治会の役員のなり手がいない」(14.4%)、「住民同士のまとまりや助け合いが乏しい」(14.2%)、「災害時の助け合いなど災害対策が不十分」(14.1%)、「地域の交通安全や防犯が不十分」(9.3%)、「就職していない人や引きこもり」・「健康づくり・介護予防の支援が不足している」(同率 7.9%)、「障害者・児のいる世帯への支援が難しい」(7.0%)、「生活に困窮している人がいる」(6.5%)、「子どもの居場所がない」(5.9%)、「子どものいじめや非行」(4.2%)、「虐待・DV 対策が不十分」(3.9%)、「犯歴のある人の社会復帰が難しい」(0.4%)、「その他」(6.0%)となっている。なお、「特にない」は 20.0%となっている。

居住地区でみると、本庄南中学校区では「生活環境改善が不十分」が第1位となっている。

図表 地域での課題（全体／複数回答）



図表 地域での課題（全体・属性別－上位3項目／複数回答）

		第1位	第2位	第3位
全体		高齢者のみの世帯への支援が難しい 20.6%	生活環境改善が不十分 17.6%	心配ごとなどを気軽に相談できる所がない 16.7%
性別	男性	高齢者のみの世帯への支援が難しい 21.7%	心配ごとなどを気軽に相談できる所がない 18.5%	自治会の役員のなり手がいない 17.2%
	女性	高齢者のみの世帯への支援が難しい 19.7%	生活環境改善が不十分 17.6%	災害時の助け合いなど災害対策が不十分 15.9%
年齢	20歳未満	生活環境改善が不十分 27.3%	地域の交通安全や防犯が不十分 22.7%	日常的な近所とのあいさつや交流が少ない／住民同士のまとまりや助け合いが乏しい 18.2%
	20代	要介護の高齢者世帯への支援が難しい 20.6%	生活環境改善が不十分 15.9%	障害者・児のいる世帯への支援が難しい 14.3%
	30代	心配ごとなどを気軽に相談できる所がない 14.8%	要介護の高齢者世帯への支援が難しい／生活環境改善が不十分／地域の交通安全や防犯が不十分 13.9%	
	40代	心配ごとなどを気軽に相談できる所がない 24.2%	高齢者のみの世帯への支援が難しい 21.8%	地域の交通安全や防犯が不十分 20.6%
	50代	高齢者のみの世帯への支援が難しい 25.3%	生活環境改善が不十分 19.5%	要介護の高齢者世帯への支援が難しい 19.0%
	60代	高齢者のみの世帯への支援が難しい 21.6%	自治会の役員のなり手がいない 18.7%	心配ごとなどを気軽に相談できる所がない 17.8%
	70代	高齢者のみの世帯への支援が難しい 21.1%	日常的な近所とのあいさつや交流が少ない 18.9%	住民同士のまとまりや助け合いが乏しい／生活環境改善が不十分 18.0%
	80歳以上	日常的な近所とのあいさつや交流が少ない 26.6%	高齢者のみの世帯への支援が難しい 20.3%	住民同士のまとまりや助け合いが乏しい 18.9%
居住地区	本庄東中学校区	高齢者のみの世帯への支援が難しい 23.8%	生活環境改善が不十分 16.8%	自治会の役員のなり手がいない 15.0%
	本庄西中学校区	高齢者のみの世帯への支援が難しい 22.7%	生活環境改善が不十分 20.1%	要介護の高齢者世帯への支援が難しい 19.7%
	本庄南中学校区	生活環境改善が不十分 18.4%	心配ごとなどを気軽に相談できる所がない 18.2%	高齢者のみの世帯への支援が難しい 17.3%
	児玉中学校区	高齢者のみの世帯への支援が難しい 21.2%	心配ごとなどを気軽に相談できる所がない 17.5%	要介護の高齢者世帯への支援が難しい 16.5%

## (8) 地域づくりを進めるために有効だと思う方法

問 22 地域で支えあう地域づくりを進めるために、有効だと思う方法は何ですか。【複数回答】

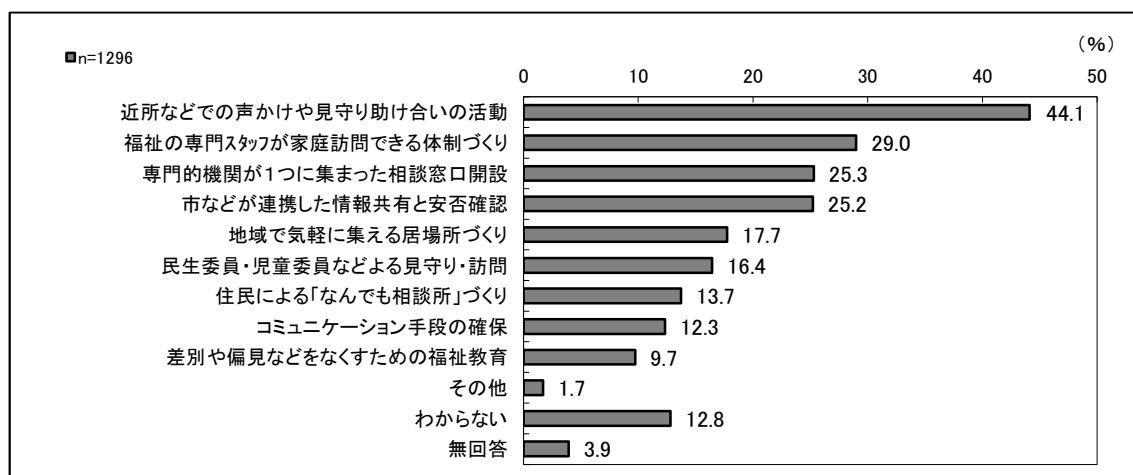


- 「近所などでの声かけや見守り助け合いの活動」が第1位。「福祉の専門スタッフが家庭訪問できる体制づくり」、「専門的機関が1つに集まった相談窓口開設」などが続く。

地域づくりを進めるために有効だと思う方法については、「近所などでの声かけや見守り助け合いの活動」(44.1%)が最も多く、次いで「福祉の専門スタッフが家庭訪問できる体制づくり」(29.0%)、「専門的機関が1つに集まった相談窓口開設」(25.3%)、「市などが連携した情報共有と安否確認」(25.2%)、「地域で気軽に集える居場所づくり」(17.7%)、「民生委員・児童委員などによる見守り・訪問」(16.4%)、「住民による「なんでも相談所」づくり」(13.7%)、「コミュニケーション手段の確保」(12.3%)、「差別や偏見などをなくすための福祉教育」(9.7%)、「その他」(1.7%)となっている。なお、「わからない」は12.8%となっている。

年齢でみると、20代では「専門的機関が1つに集まった相談窓口開設」が第1位となっている。

図表 地域づくりを進めるために有効だと思う方法（全体／複数回答）



図表 地域づくりを進めるために有効だと思う方法  
(全体・属性別－上位3項目／複数回答)

		第1位	第2位	第3位
全体		近所などでの声かけや見 守り助け合いの活動 44.1%	福祉の専門スタッフが家 庭訪問できる体制づくり 29.0%	専門的機関が1つに集ま った相談窓口開設 25.3%
性別	男性	近所などでの声かけや見 守り助け合いの活動 44.1%	福祉の専門スタッフが家 庭訪問できる体制づくり 27.1%	市などが連携した情報共 有と安否確認 25.6%
	女性	近所などでの声かけや見 守り助け合いの活動 44.6%	福祉の専門スタッフが家 庭訪問できる体制づくり 30.1%	専門的機関が1つに集ま った相談窓口開設 26.6%
年齢	20歳未満	近所などでの声かけや見 守り助け合いの活動 31.8%	市などが連携した情報共有と安否確認／差別や偏見 などをなくすための福祉教育 27.3%	
	20代	専門的機関が1つに集ま った相談窓口開設 39.7%	市などが連携した情報共 有と安否確認 30.2%	近所などでの声かけや見 守り助け合いの活動／福 祉の専門スタッフが家庭 訪問できる体制づくり 27.0%
	30代	近所などでの声かけや見 守り助け合いの活動 35.2%	市などが連携した情報共 有と安否確認 30.6%	専門的機関が1つに集ま った相談窓口開設 25.0%
	40代	近所などでの声かけや見 守り助け合いの活動 32.1%	専門的機関が1つに集ま った相談窓口開設 30.3%	市などが連携した情報共 有と安否確認 28.5%
	50代	近所などでの声かけや見 守り助け合いの活動 38.0%	市などが連携した情報共有と安否確認／福祉の専門 スタッフが家庭訪問できる体制づくり 30.8%	
	60代	近所などでの声かけや見 守り助け合いの活動 48.1%	福祉の専門スタッフが家 庭訪問できる体制づくり 36.1%	市などが連携した情報共 有と安否確認 25.3%
	70代	近所などでの声かけや見 守り助け合いの活動 56.5%	福祉の専門スタッフが家 庭訪問できる体制づくり 28.3%	専門的機関が1つに集ま った相談窓口開設 26.4%
	80歳以上	近所などでの声かけや見 守り助け合いの活動 50.3%	福祉の専門スタッフが家 庭訪問できる体制づくり 28.0%	民生委員・児童委員など による見守り・訪問 21.7%
居住地区	本庄東 中学校区	近所などでの声かけや見 守り助け合いの活動 43.0%	福祉の専門スタッフが家 庭訪問できる体制づくり 29.0%	専門的機関が1つに集ま った相談窓口開設 24.8%
	本庄西 中学校区	近所などでの声かけや見 守り助け合いの活動 45.0%	市などが連携した情報共 有と安否確認 29.7%	福祉の専門スタッフが家 庭訪問できる体制づくり 27.1%
	本庄南 中学校区	近所などでの声かけや見 守り助け合いの活動 44.0%	福祉の専門スタッフが家 庭訪問できる体制づくり 31.5%	専門的機関が1つに集ま った相談窓口開設 27.4%
	児玉 中学校区	近所などでの声かけや見 守り助け合いの活動 47.8%	福祉の専門スタッフが家 庭訪問できる体制づくり 26.6%	専門的機関が1つに集ま った相談窓口開設 23.9%

## (9) 近所の人にサポートしてほしいこと

問 23 近所の人にサポートしてほしいことはありますか。【複数回答】



- 「特にない」が 57.4%を占める。

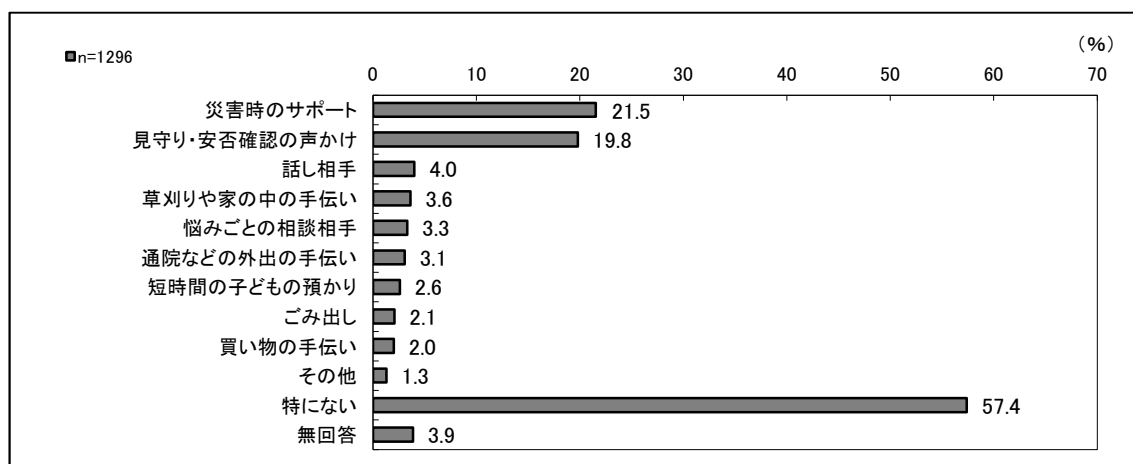
近所の人にサポートしてほしいことについては、「災害時のサポート」(21.5%)が最も多く、次いで「見守り・安否確認の声かけ」(19.8%)、「話し相手」(4.0%)、「草刈りや家の中の手伝い」(3.6%)、「悩みごとの相談相手」(3.3%)、「通院などの外出の手伝い」(3.1%)、「短時間の子どもの預かり」(2.6%)、「ごみ出し」(2.1%)、「買い物の手伝い」(2.0%)、「その他」(1.3%)となっている。なお、「特にない」は 57.4%となっている。

性別でみると、男性では「見守り・安否確認の声かけ」が第1位となっている。

年齢でみると、30代と40代では「見守り・安否確認の声かけ」が第1位となっている。

居住地区でみると、本庄西中学校区と児玉中学校区では「見守り・安否確認の声かけ」が第1位となっている。

図表 近所の人にサポートしてほしいこと（全体／複数回答）



図表 近所の人にサポートしてほしいこと（全体・属性別－上位3項目／複数回答）

		第1位	第2位	第3位
全体		災害時のサポート 21.5%	見守り・安否確認の声かけ 19.8%	話し相手 4.0%
性別	男性	見守り・安否確認の声かけ 21.0%	災害時のサポート 20.6%	草刈りや家の中の手伝い／悩みごとの相談相手 3.8%
	女性	災害時のサポート 22.2%	見守り・安否確認の声かけ 19.1%	話し相手 4.9%
年齢	20歳未満	災害時のサポート 18.2%	見守り・安否確認の声かけ 13.6%	
	20代	災害時のサポート 23.8%	見守り・安否確認の声かけ 19.0%	短時間の子どもの預かり 7.9%
	30代	見守り・安否確認の声かけ 21.3%	災害時のサポート 16.7%	短時間の子どもの預かり 11.1%
	40代	見守り・安否確認の声かけ 24.8%	災害時のサポート 21.2%	短時間の子どもの預かり 7.3%
	50代	災害時のサポート 21.3%	見守り・安否確認の声かけ 19.5%	話し相手／草刈りや家の中の手伝い／悩みごとの相談相手 5.0%
	60代	災害時のサポート 17.8%	見守り・安否確認の声かけ 17.0%	話し相手／草刈りや家の中の手伝い 3.3%
	70代	災害時のサポート 22.0%	見守り・安否確認の声かけ 16.8%	ごみ出し 3.4%
	80歳以上	災害時のサポート 30.1%	見守り・安否確認の声かけ 27.3%	話し相手 10.5%
居住地区	本庄東中学校区	災害時のサポート 23.1%	見守り・安否確認の声かけ 21.7%	話し相手 5.2%
	本庄西中学校区	見守り・安否確認の声かけ 22.3%	災害時のサポート 19.7%	草刈りや家の中の手伝い 5.2%
	本庄南中学校区	災害時のサポート 22.5%	見守り・安否確認の声かけ 17.3%	短時間の子どもの預かり 2.7%
	児玉中学校区	見守り・安否確認の声かけ 21.5%	災害時のサポート 20.9%	話し相手／草刈りや家の中の手伝い 5.4%

## (10) 隣近所のサポートが必要な家庭に対してできること

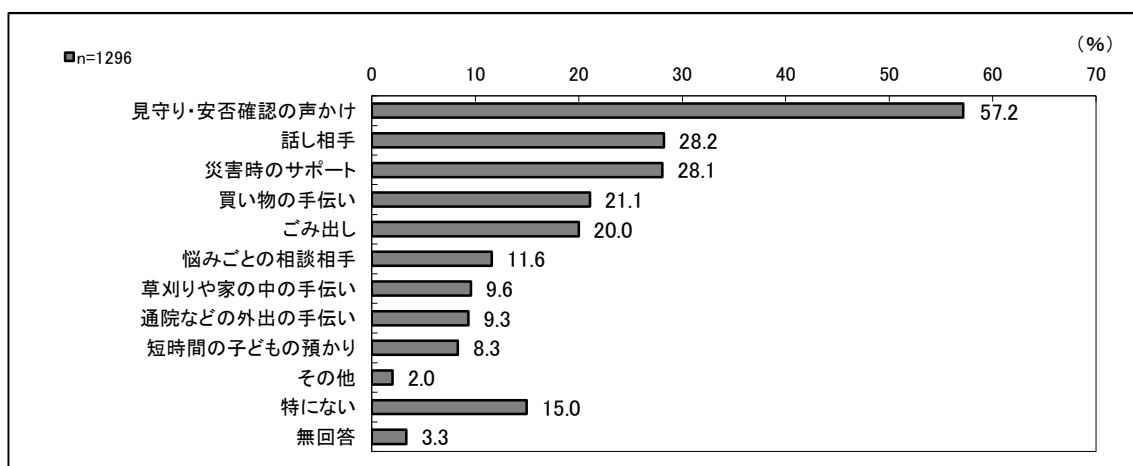
問 24 隣近所でサポートが必要な家庭があった場合、あなたはどのようなことができると思いますか。【複数回答】

- 「見守り・安否確認の声かけ」が他を大きく引き離して第1位。

隣近所のサポートが必要な家庭に対してできることについては、「見守り・安否確認の声かけ」(57.2%)が最も多く、次いで「話し相手」(28.2%)、「災害時のサポート」(28.1%)、「買い物の手伝い」(21.1%)、「ごみ出し」(20.0%)、「悩みごとの相談相手」(11.6%)、「草刈りや家の中の手伝い」(9.6%)、「通院などの外出の手伝い」(9.3%)、「短時間の子どもの預かり」(8.3%)、「その他」(2.0%)となっている。なお、「特にない」は15.0%となっている。

年齢でみると、20代では「災害時のサポート」が第1位となっている。

図表 隣近所のサポートが必要な家庭に対してできること（全体／複数回答）





図表 隣近所のサポートが必要な家庭に対してできること  
(全体・属性別－上位3項目／複数回答)

		第1位	第2位	第3位
全体		見守り・安否確認の声かけ 57.2%	話し相手 28.2%	災害時のサポート 28.1%
性別	男性	見守り・安否確認の声かけ 54.7%	災害時のサポート 35.5%	話し相手 24.4%
	女性	見守り・安否確認の声かけ 59.6%	話し相手 31.4%	買い物の手伝い 26.5%
年齢	20歳未満	見守り・安否確認の声かけ 50.0%	話し相手 36.4%	災害時のサポート／草刈りや家の中の手伝い／短時間の子どもの預かり 22.7%
	20代	災害時のサポート 36.5%	見守り・安否確認の声かけ 34.9%	話し相手 28.6%
	30代	見守り・安否確認の声かけ 53.7%	話し相手 34.3%	買い物の手伝い 29.6%
	40代	見守り・安否確認の声かけ 58.8%	災害時のサポート 32.1%	買い物の手伝い／話し相手 24.8%
	50代	見守り・安否確認の声かけ 62.9%	災害時のサポート 37.1%	買い物の手伝い 25.3%
	60代	見守り・安否確認の声かけ 63.5%	災害時のサポート 31.5%	話し相手 27.8%
	70代	見守り・安否確認の声かけ 61.2%	話し相手 29.8%	災害時のサポート 24.5%
	80歳以上	見守り・安否確認の声かけ 42.0%	話し相手 33.6%	災害時のサポート 14.0%
居住地区	本庄東中学校区	見守り・安否確認の声かけ 57.0%	話し相手 25.5%	災害時のサポート 24.1%
	本庄西中学校区	見守り・安否確認の声かけ 56.3%	話し相手 27.1%	災害時のサポート 23.6%
	本庄南中学校区	見守り・安否確認の声かけ 57.5%	災害時のサポート 33.7%	話し相手 29.4%
	児玉中学校区	見守り・安否確認の声かけ 59.9%	話し相手 31.6%	災害時のサポート 29.0%

# (11) 地域で住民中心の福祉活動を行うための組織の必要性

問 25 身近な地域で住民が中心となって福祉活動を行うための組織が必要だと思いますか。

- 「必要だと思う」が6割強、「必要だとは思わない」が2割強を占める。

地域で住民中心の福祉活動を行うための組織の必要性については、「必要だと思う」が61.3%、「必要だとは思わない」が23.6%、「その他」が9.8%となっている。

年齢でみると、20代では「必要だとは思わない」が41.3%と他の年齢層よりも高くなっている。若年層ほど必要性を感じない人の割合が高い傾向がうかがえる。

居住地区でみると、本庄西中学校区では「必要だと思う」が66.4%と他の地区よりも高くなっている。

図表 地域で住民中心の福祉活動を行うための組織の必要性（全体・属性別）

		必要だと思う	必要だとは思わない	その他	無回答	n
性別	全体	61.3	23.6	9.8	5.3	1296
	男性	61.8	24.2	9.1	4.8	558
	女性	61.4	22.7	10.2	5.7	717
年齢	20歳未満	59.1	31.8	4.5	4.5	22
	20代	49.2	41.3	7.9	1.6	63
	30代	55.6	35.2	6.5	2.8	108
	40代	54.5	30.3	14.5	0.6	165
	50代	60.2	26.2	10.9	2.7	221
	60代	64.7	19.9	11.6	3.7	241
	70代	64.3	17.7	9.0	9.0	322
	80歳以上	69.2	12.6	5.6	12.6	143
居住地区	本庄東中学校区	56.6	25.9	10.5	7.0	286
	本庄西中学校区	66.4	21.8	7.9	3.9	229
	本庄南中学校区	61.8	22.7	10.1	5.4	445
	児玉中学校区	60.6	24.2	10.8	4.4	297

## 5 災害への備えなどについて

### (1) 災害に対して不安を感じる程度

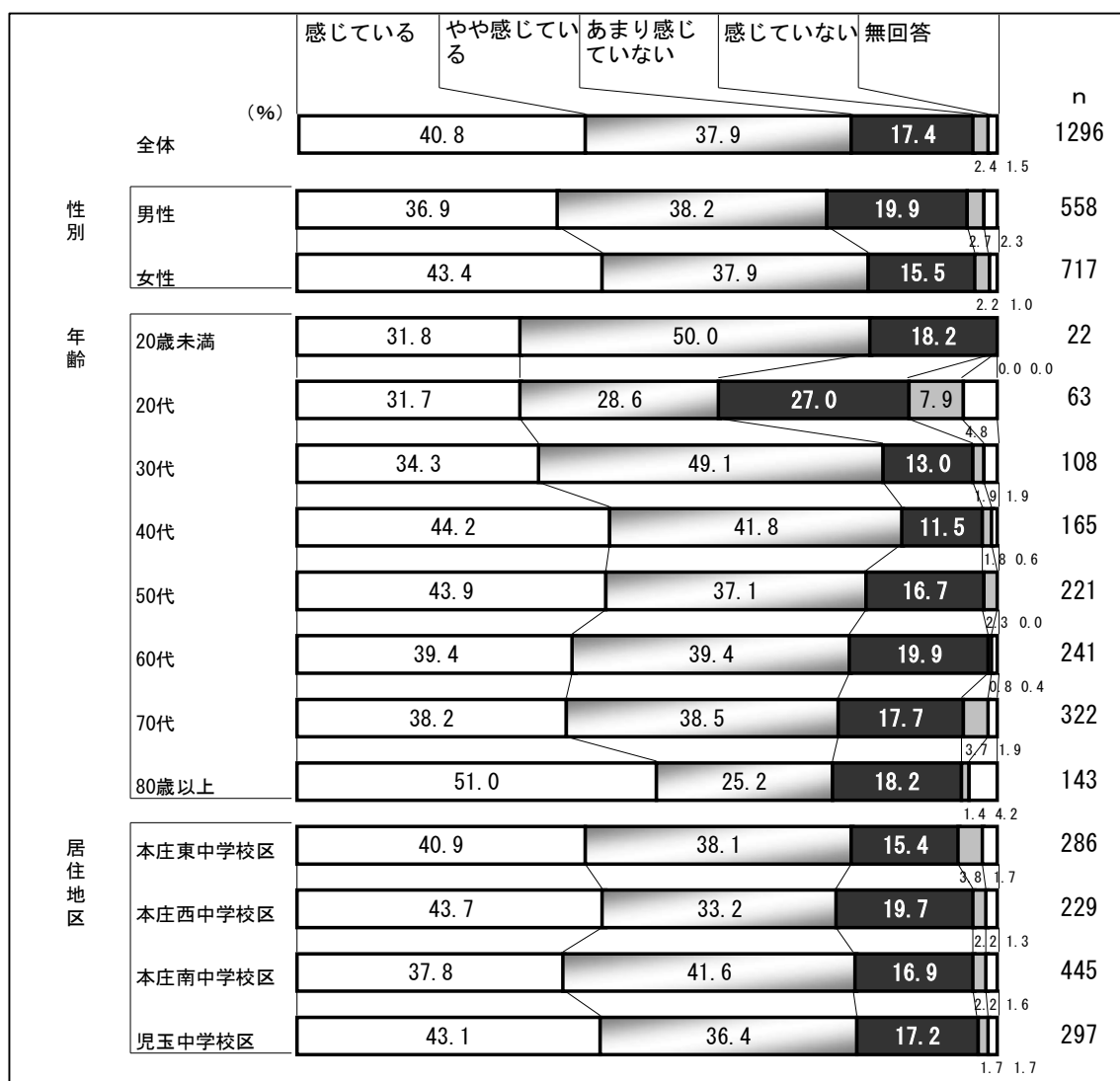
問 26 災害に対して不安を感じていますか。

- “感じている” が8割弱、“感じていない” が2割弱を占める。

災害に対して不安を感じる程度については、「感じている」(40.8%)と「やや感じている」(37.9%)を合わせた“感じている”が78.7%、「あまり感じていない」(17.4%)と「感じていない」(2.4%)を合わせた“感じていない”が19.8%となっている。

年齢でみると、20代では“感じていない”が34.9%と他の年齢層よりも高い割合を占めている。

図表 災害に対して不安を感じる程度(全体・属性別)



## (2) 災害に対して備えていること

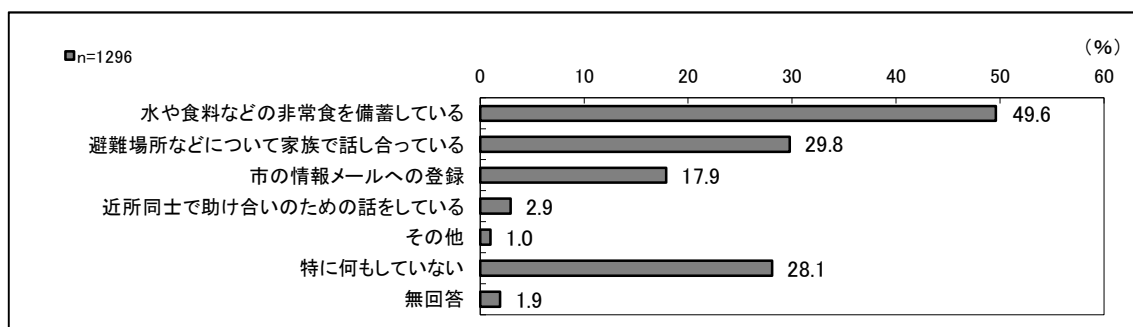
問 27 災害に対してどのような備えをしていますか。【複数回答可】

- 「水や食料などの非常食を備蓄している」が第1位。「避難場所などについて家族で話し合っている」、「市の情報メールへの登録」などが続く。

災害に対して備えていることについては、「水や食料などの非常食を備蓄している」(49.6%)が最も多く、次いで「避難場所などについて家族で話し合っている」(29.8%)、「市の情報メールへの登録」(17.9%)、「近所同士で助け合いのための話をしている」(2.9%)、「その他」(1.0%)となっている。なお、「特に何もしていない」は28.1%となっている。

年齢で見ると、20歳未満では「避難場所などについて家族で話し合っている」が第1位となっている。

図表 災害に対して備えていること（全体／複数回答）



図表 災害に対して備えていること（全体・属性別－上位3項目／複数回答）

		第1位	第2位	第3位
全体		水や食料などの非常食を 備蓄している 49.6%	避難場所などについて家 族で話し合っている 29.8%	市の情報メールへの登録 17.9%
性別	男性	水や食料などの非常食を 備蓄している 43.9%	避難場所などについて家 族で話し合っている 26.9%	市の情報メールへの登録 15.2%
	女性	水や食料などの非常食を 備蓄している 54.3%	避難場所などについて家 族で話し合っている 32.2%	市の情報メールへの登録 19.9%
年齢	20 歳未満	避難場所などについて家 族で話し合っている 45.5%	水や食料などの非常食を 備蓄している 40.9%	市の情報メールへの登録 9.1%
	20 代	水や食料などの非常食を 備蓄している 47.6%	避難場所などについて家 族で話し合っている 36.5%	市の情報メールへの登録 14.3%
	30 代	水や食料などの非常食を 備蓄している 42.6%	避難場所などについて家 族で話し合っている 29.6%	市の情報メールへの登録 27.8%
	40 代	水や食料などの非常食を 備蓄している 50.9%	避難場所などについて家 族で話し合っている 36.4%	市の情報メールへの登録 34.5%
	50 代	水や食料などの非常食を 備蓄している 58.8%	避難場所などについて家 族で話し合っている 29.4%	市の情報メールへの登録 25.3%
	60 代	水や食料などの非常食を 備蓄している 54.4%	避難場所などについて家 族で話し合っている 28.2%	市の情報メールへの登録 18.3%
	70 代	水や食料などの非常食を 備蓄している 48.4%	避難場所などについて家 族で話し合っている 31.7%	市の情報メールへの登録 7.8%
	80 歳以上	水や食料などの非常食を 備蓄している 38.5%	避難場所などについて家 族で話し合っている 16.8%	市の情報メールへの登録 5.6%
居住地区	本庄東 中学校区	水や食料などの非常食を 備蓄している 44.8%	避難場所などについて家 族で話し合っている 29.0%	市の情報メールへの登録 15.7%
	本庄西 中学校区	水や食料などの非常食を 備蓄している 52.4%	避難場所などについて家 族で話し合っている 31.9%	市の情報メールへの登録 18.8%
	本庄南 中学校区	水や食料などの非常食を 備蓄している 53.5%	避難場所などについて家 族で話し合っている 28.8%	市の情報メールへの登録 20.2%
	児玉 中学校区	水や食料などの非常食を 備蓄している 48.1%	避難場所などについて家 族で話し合っている 31.6%	市の情報メールへの登録 17.2%

### (3) 災害時に住民が支えあう地域づくりに必要なこと

問 28 災害時に住民が支えあう地域づくりに、何が必要だと思いますか。【複数回答可】



- 「避難場所や支援情報を掲載したマップの作成」が第1位。「日常生活の中でのお互いの見守り活動」、「災害時に支援が必要な方の名簿の作成」などが続く。

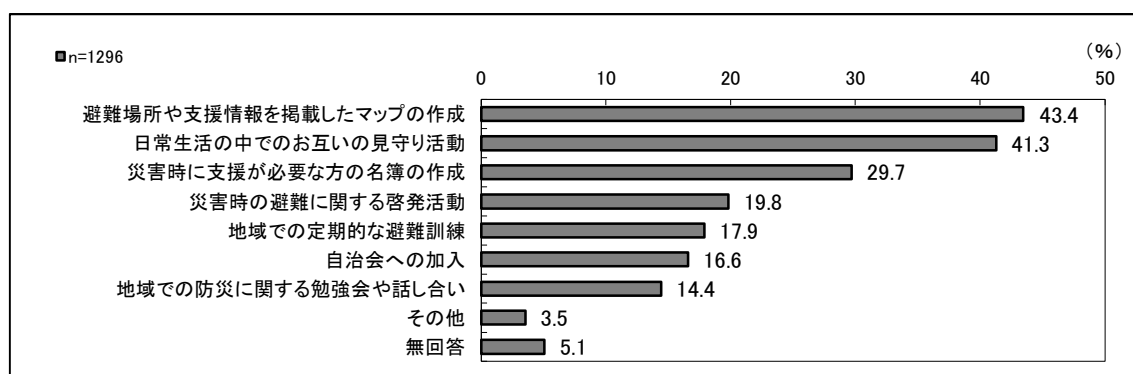
災害時に住民が支えあう地域づくりに必要なことについては、「避難場所や支援情報を掲載したマップの作成」(43.4%)が最も多く、次いで「日常生活の中でのお互いの見守り活動」(41.3%)、「災害時に支援が必要な方の名簿の作成」(29.7%)、「災害時の避難に関する啓発活動」(19.8%)、「地域での定期的な避難訓練」(17.9%)、「自治会への加入」(16.6%)、「地域での防災に関する勉強会や話し合い」(14.4%)、「その他」(3.5%)などとなっている。

性別でみると、男性では「日常生活の中でのお互いの見守り活動」が第1位となっている。

年齢でみると、50代と70代以上では「日常生活の中でのお互いの見守り活動」が第1位となっている。

居住地区でみると、児玉中学校区では「日常生活の中でのお互いの見守り活動」が第1位となっている。

図表 災害時に住民が支えあう地域づくりに必要なこと（全体／複数回答）



図表 暮らしの中で感じる悩みや不安（全体・属性別－上位3項目／複数回答）

		第1位	第2位	第3位
全体		避難場所や支援情報を掲載したマップの作成 43.4%	日常生活の中でのお互いの見守り活動 41.3%	災害時に支援が必要な方の名簿の作成 29.7%
性別	男性	日常生活の中でのお互いの見守り活動 41.4%	避難場所や支援情報を掲載したマップの作成 38.9%	災害時に支援が必要な方の名簿の作成 28.9%
	女性	避難場所や支援情報を掲載したマップの作成 46.7%	日常生活の中でのお互いの見守り活動 41.8%	災害時に支援が必要な方の名簿の作成 30.1%
年齢	20歳未満	避難場所や支援情報を掲載したマップの作成 63.6%	日常生活の中でのお互いの見守り活動 31.8%	災害時に支援が必要な方の名簿の作成 22.7%
	20代	避難場所や支援情報を掲載したマップの作成 65.1%	災害時に支援が必要な方の名簿の作成 33.3%	災害時の避難に関する啓発活動 27.0%
	30代	避難場所や支援情報を掲載したマップの作成 60.2%	災害時に支援が必要な方の名簿の作成 33.3%	日常生活の中でのお互いの見守り活動 30.6%
	40代	避難場所や支援情報を掲載したマップの作成 54.5%	日常生活の中でのお互いの見守り活動 41.2%	災害時に支援が必要な方の名簿の作成 27.9%
	50代	日常生活の中でのお互いの見守り活動 46.2%	避難場所や支援情報を掲載したマップの作成 42.1%	災害時に支援が必要な方の名簿の作成 33.9%
	60代	避難場所や支援情報を掲載したマップの作成 43.6%	日常生活の中でのお互いの見守り活動 41.5%	災害時に支援が必要な方の名簿の作成 31.1%
	70代	日常生活の中でのお互いの見守り活動 44.1%	避難場所や支援情報を掲載したマップの作成 32.9%	災害時に支援が必要な方の名簿の作成 29.2%
	80歳以上	日常生活の中でのお互いの見守り活動 51.0%	避難場所や支援情報を掲載したマップの作成 31.5%	自治会への加入 25.2%
居住地区	本庄東中学校区	避難場所や支援情報を掲載したマップの作成 46.2%	日常生活の中でのお互いの見守り活動 42.3%	災害時に支援が必要な方の名簿の作成 26.9%
	本庄西中学校区	避難場所や支援情報を掲載したマップの作成 43.7%	日常生活の中でのお互いの見守り活動 43.2%	災害時に支援が必要な方の名簿の作成 32.8%
	本庄南中学校区	避難場所や支援情報を掲載したマップの作成 43.1%	日常生活の中でのお互いの見守り活動 40.9%	災害時に支援が必要な方の名簿の作成 29.2%
	児玉中学校区	日常生活の中でのお互いの見守り活動 41.8%	避難場所や支援情報を掲載したマップの作成 40.4%	災害時に支援が必要な方の名簿の作成 33.3%

## 6 権利や財産を守る取り組みについて

### (1) 身の回りに判断能力に不安を抱える人はいるか

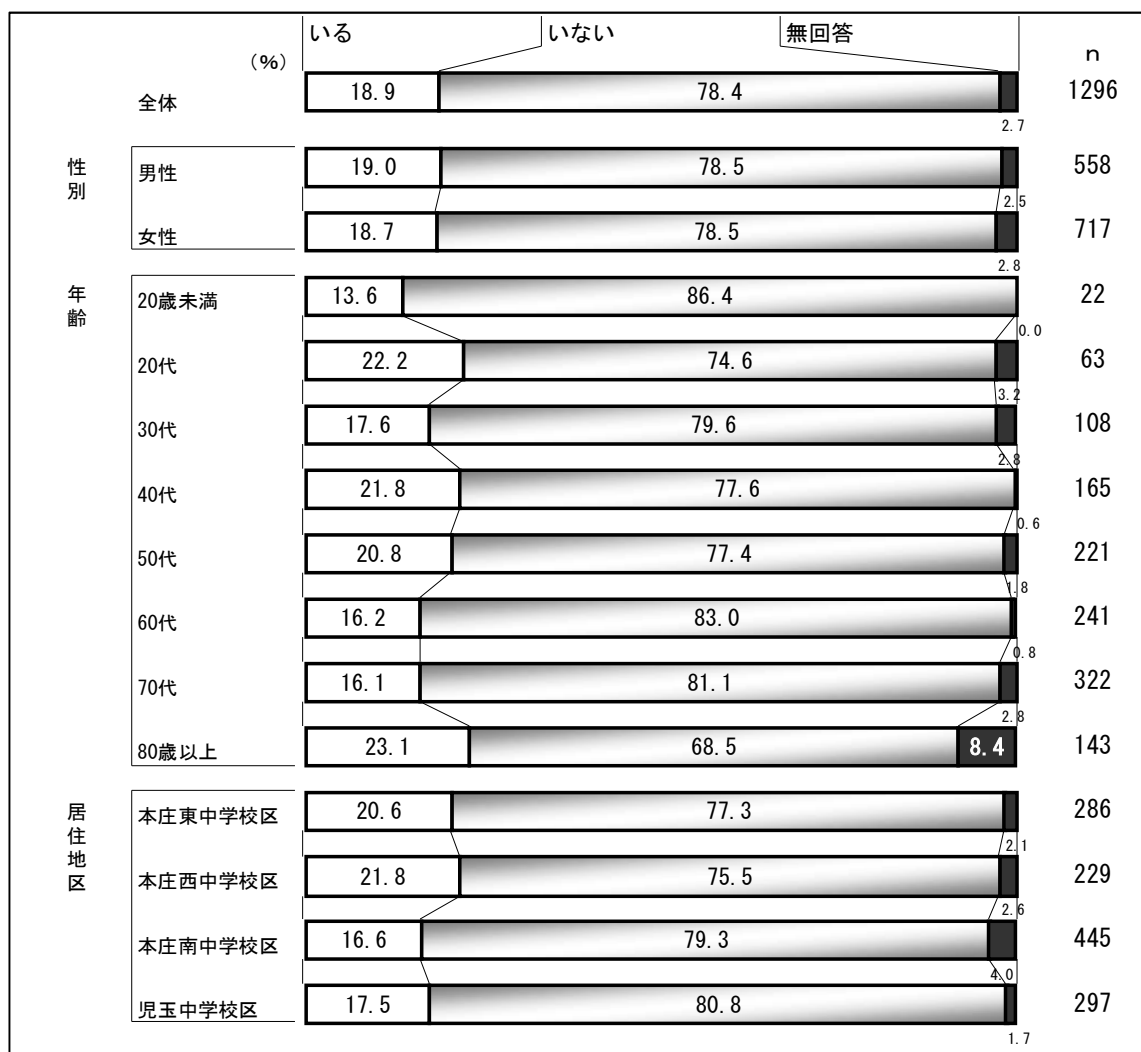
問 29 あなたの身の回りに、判断能力に不安を抱える人はいますか。

- 「いない」が8割弱、「いる」が2割弱を占める。

身の回りに判断能力に不安を抱える人はいるかについては、「いない」が78.4%、「いる」が18.9%となっている。

いずれの属性でも「いる」は2割前後を占めている。

図表 身の回りに判断能力に不安を抱える人はいるか（全体・属性別）





## (2) 日常生活自立支援事業の認知状況

問 30 日常生活自立支援事業について御存じですか。

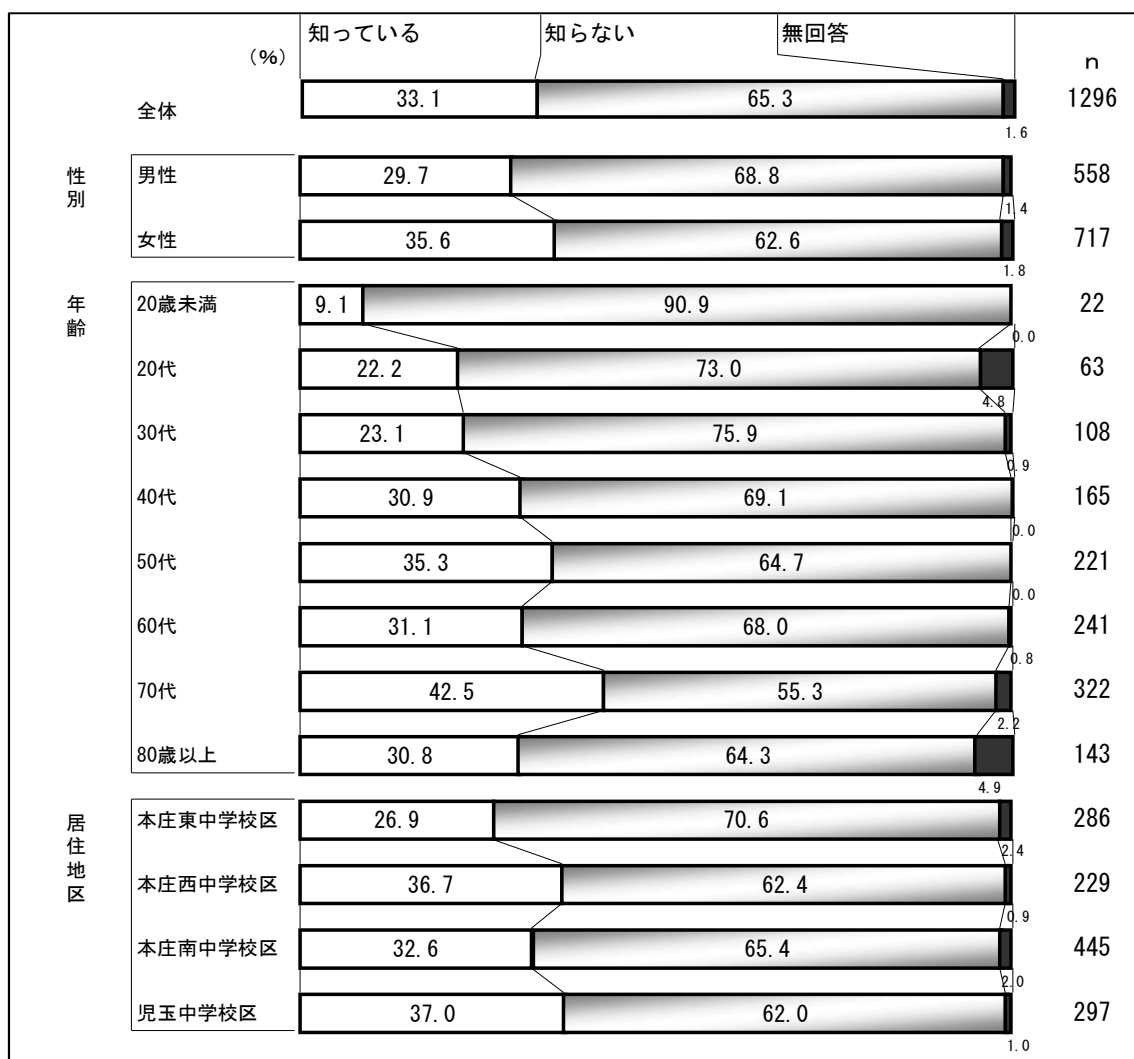
- 「知らない」が7割弱、「知っている」が3割強を占める。

日常生活自立支援事業の認知状況については、「知らない」が 65.3%、「知っている」が 33.1%となっている。

年齢でみると、40 代以上では「知っている」が3割以上を占め、70 代では 42.5%となっている。

居住地区でみると、本庄東中学校区では「知っている」が 26.9%と他の地区よりも低くなっている。

図表 日常生活自立支援事業の認知状況（全体・属性別）



### (3) 成年後見制度の認知状況

問 31 成年後見制度について御存じですか。

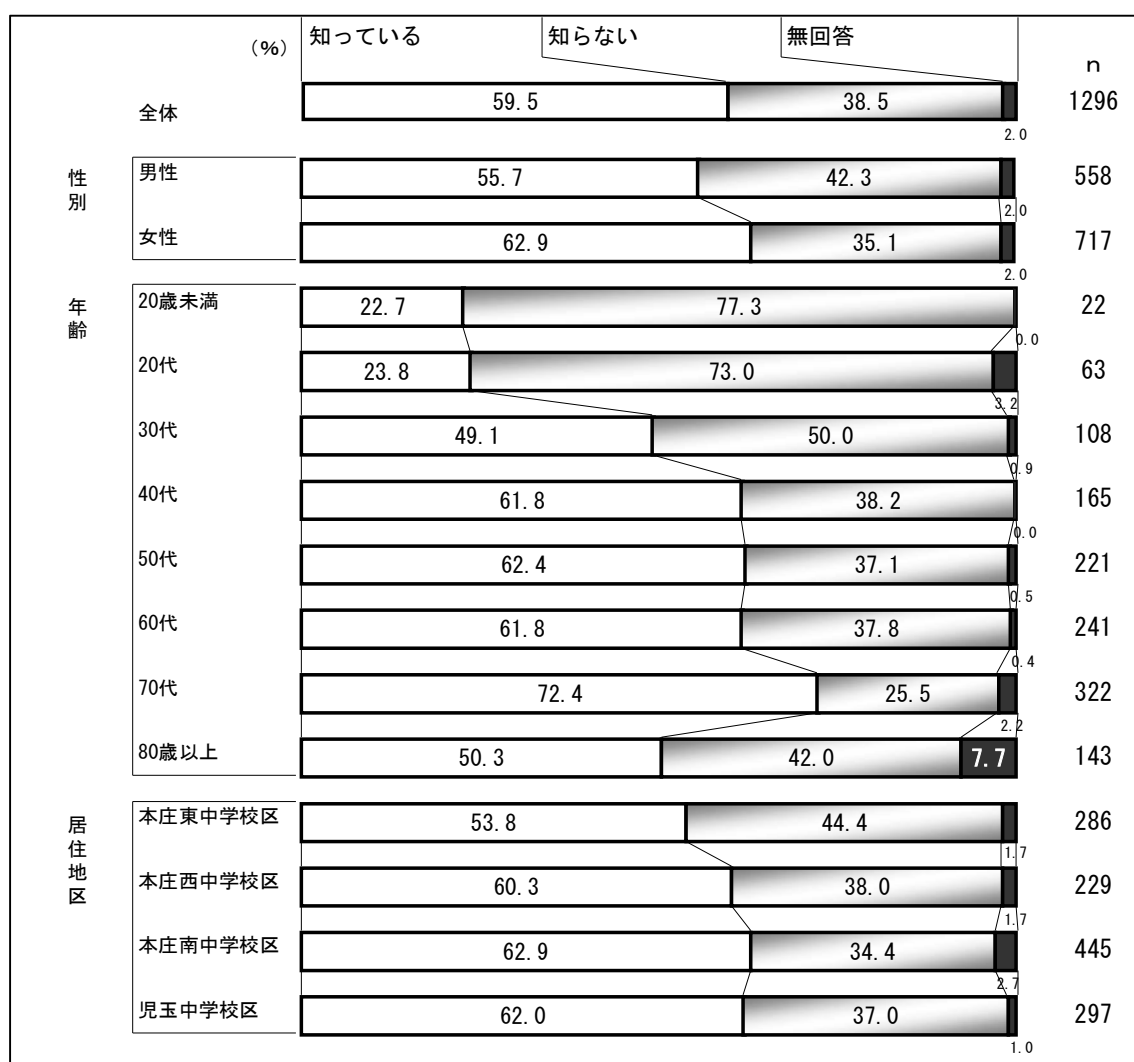
- 「知っている」が6割弱、「知らない」が4割弱を占める。

成年後見制度の認知状況については、「知っている」が 59.5%、「知らない」が 38.5% となっている。

性別でみると、男性では「知っている」が 55.7%となっているのに対し、女性では 62.9%となっている。

年齢でみると、20 代以下では「知らない」が7割以上を占める。70 代では「知っている」が 72.4%となっている。

図表 成年後見制度の認知状況（全体・属性別）



#### (4) 市民後見人の活動に関心はあるか

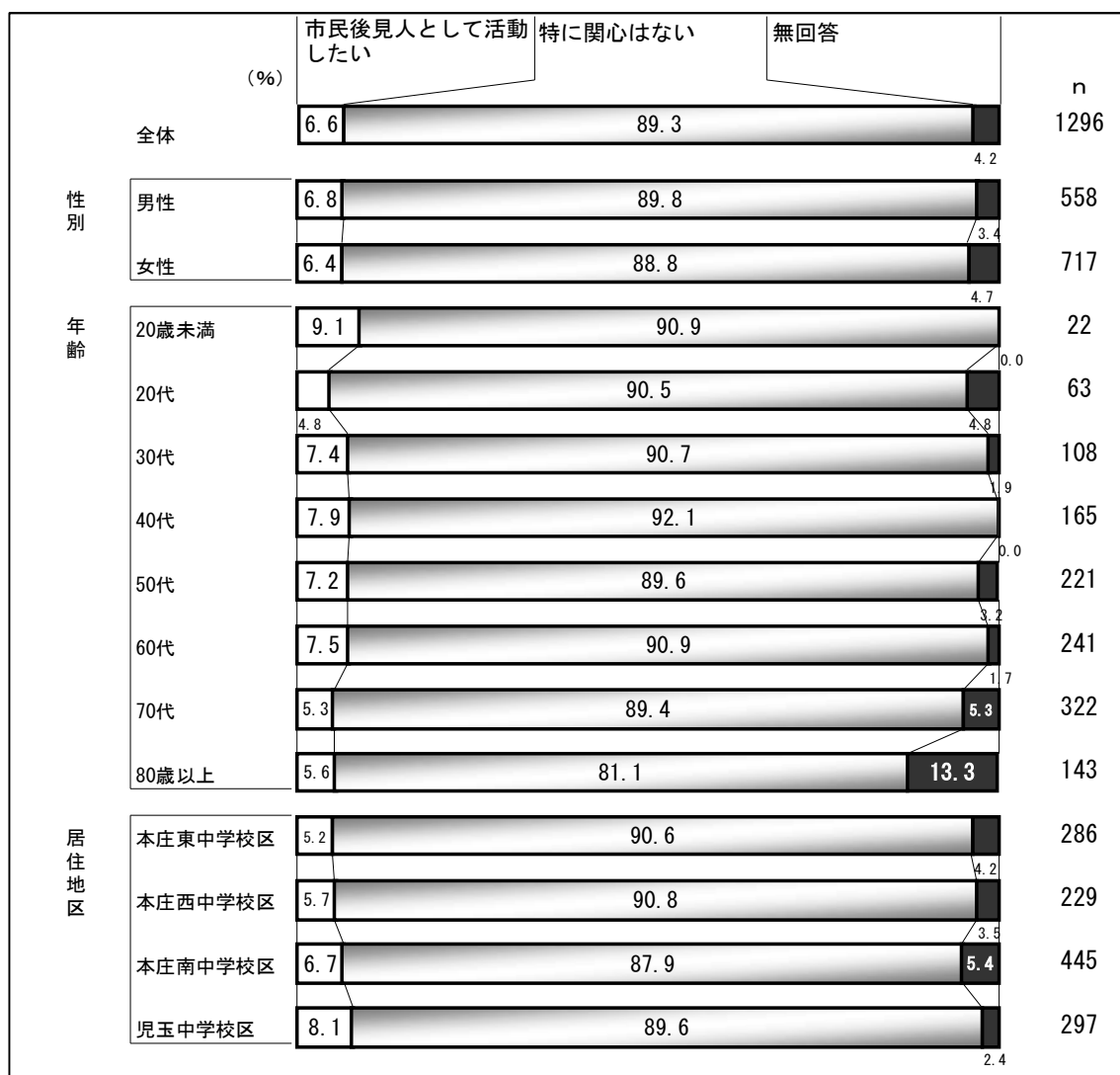
問 32 市民後見人の活動に関心はありますか。

- 「特に関心はない」が9割弱を占める。「市民後見人として活動したい」は1割に満たない。

市民後見人の活動に関心はあるかについては、「特に関心はない」が89.3%、「市民後見人として活動したい」が6.6%となっている。

いずれの属性でも「市民後見人として活動したい」は1割未満となっている。

図表 市民後見人の活動に関心はあるか（全体・属性別）



## 7 地域活動について

### (1) 参加している地域活動

問 33 参加している地域活動はありますか。【複数回答】

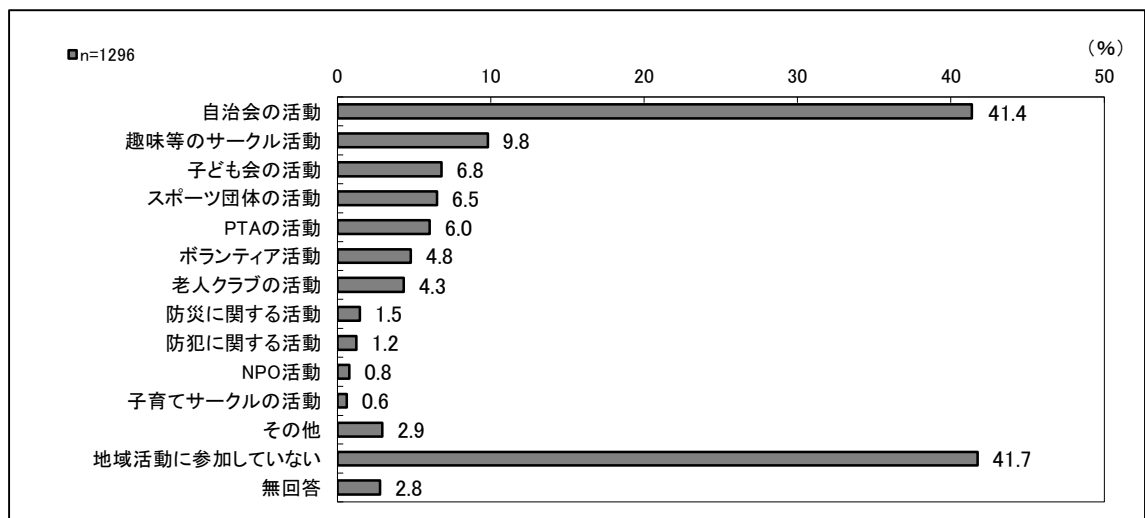


- 「自治会の活動」が他を大きく引き離して第1位。「地域活動に参加していない」は41.7%を占める。

参加している地域活動については、「自治会の活動」(41.4%)が最も多く、次いで「趣味等のサークル活動」(9.8%)、「子ども会の活動」(6.8%)、「スポーツ団体の活動」(6.5%)、「PTAの活動」(6.0%)、「ボランティア活動」(4.8%)、「老人クラブの活動」(4.3%)、「防災に関する活動」(1.5%)、「防犯に関する活動」(1.2%)、「NPO活動」(0.8%)、「子育てサークルの活動」(0.6%)、「その他」(2.9%)となっている。なお、「地域活動に参加していない」は41.7%となっている。

いずれの属性でも「自治会の活動」が第1位となっている。

図表 参加している地域活動（全体・属性別）



図表 参加している地域活動（全体・属性別－上位３項目／複数回答）

		第１位	第２位	第３位
全体		自治会の活動 41.4%	趣味等のサークル活動 9.8%	子ども会の活動 6.8%
性別	男性	自治会の活動 47.7%	趣味等のサークル活動 7.7%	スポーツ団体の活動 7.0%
	女性	自治会の活動 37.1%	趣味等のサークル活動 11.4%	子ども会の活動 7.3%
年齢	20 歳未満	自治会の活動 27.3%	ボランティア活動 13.6%	子ども会の活動 9.1%
	20 代	自治会の活動 6.3%	子ども会の活動／趣味等のサークル活動 4.8%	
	30 代	自治会の活動 25.9%	子ども会の活動 19.4%	PTA の活動 14.8%
	40 代	自治会の活動 46.1%	子ども会の活動 24.2%	PTA の活動 21.2%
	50 代	自治会の活動 47.5%	PTA の活動 8.6%	子ども会の活動 6.3%
	60 代	自治会の活動 51.5%	趣味等のサークル活動 10.0%	ボランティア活動 5.8%
	70 代	自治会の活動 45.7%	趣味等のサークル活動 20.5%	スポーツ団体の活動 8.4%
	80 歳以上	自治会の活動 31.5%	老人クラブの活動 15.4%	趣味等のサークル活動 9.1%
居住地区	本庄東 中学校区	自治会の活動 36.0%	趣味等のサークル活動 9.4%	PTA の活動 5.9%
	本庄西 中学校区	自治会の活動 39.3%	趣味等のサークル活動 9.6%	スポーツ団体の活動 8.3%
	本庄南 中学校区	自治会の活動 45.6%	趣味等のサークル活動 9.9%	子ども会の活動 7.6%
	児玉 中学校区	自治会の活動 45.1%	趣味等のサークル活動 10.8%	ボランティア活動 8.4%

## (2) 今後地域活動に参加したい程度

問 34 今後、地域活動にどの程度参加したいと思いますか。



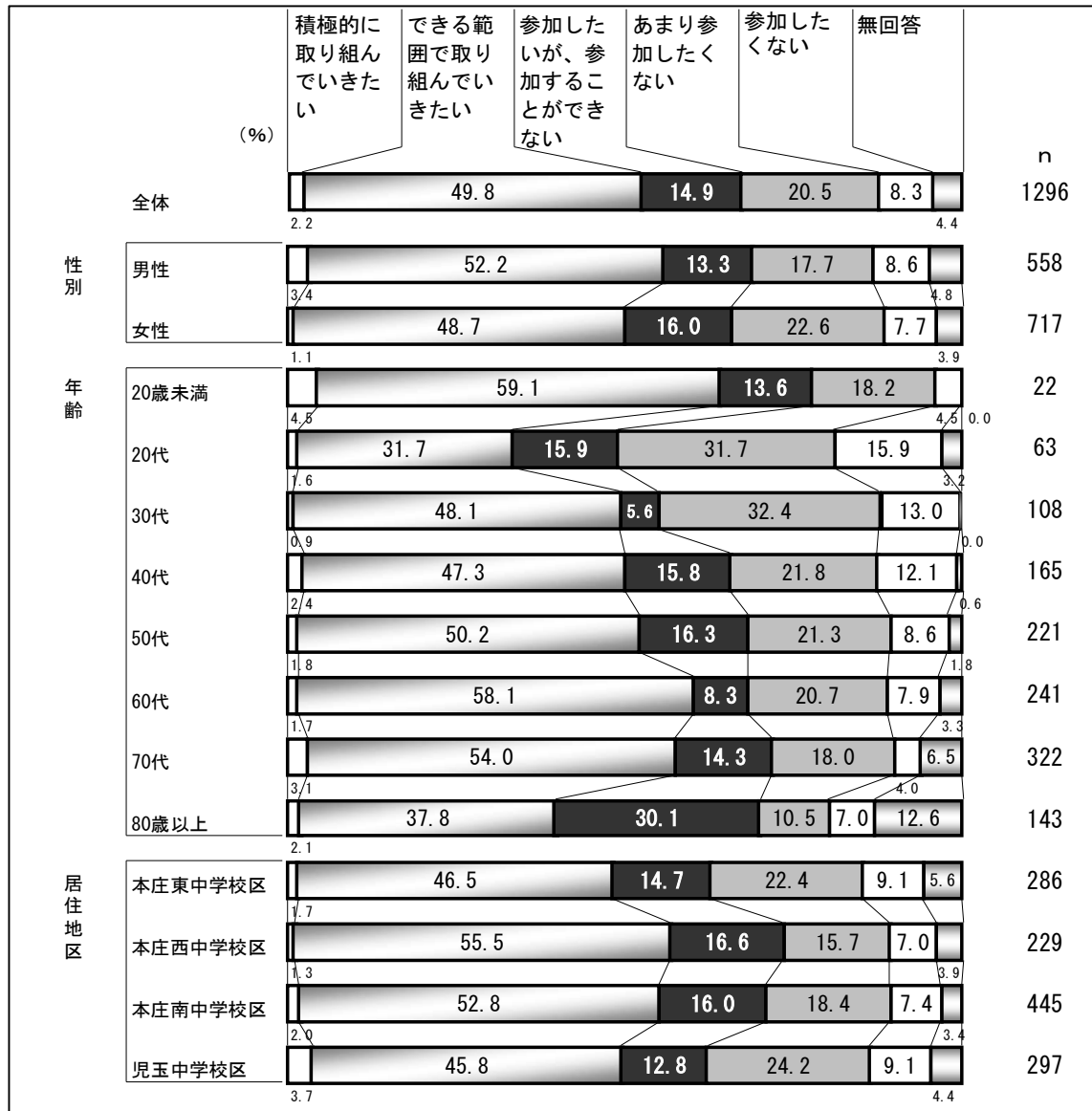
- “取り組んでいきたい”が5割強、“参加したくない”が3割弱を占める。

今後地域活動に参加したい程度については、「積極的に取り組んでいきたい」(2.2%)と「できる範囲で取り組んでいきたい」(49.8%)を合わせた“取り組んでいきたい”が52.0%、「あまり参加したくない」(20.5%)と「参加したくない」(8.3%)を合わせた“参加したくない”が28.8%となっている、「参加したいが、参加することができない」が14.9%となっている。

年齢でみると、20歳未満では“取り組んでいきたい”が63.6%と他の年齢層よりも高くなっている。20代と30代では“参加したくない”がいずれも5割弱を占めている。80歳以上では「参加したいが、参加することができない」が30.1%を占めている。

居住地区でみると、本庄西中学校区と本庄南中学校区では“取り組んでいきたい”がいずれも5割以上を占めている。

図表 今後地域活動に参加したい程度（全体・属性別）



### (3) 参加しやすいと思う地域活動の条件

問 35 参加しやすいと思う地域活動の条件を御回答ください。【複数回答】

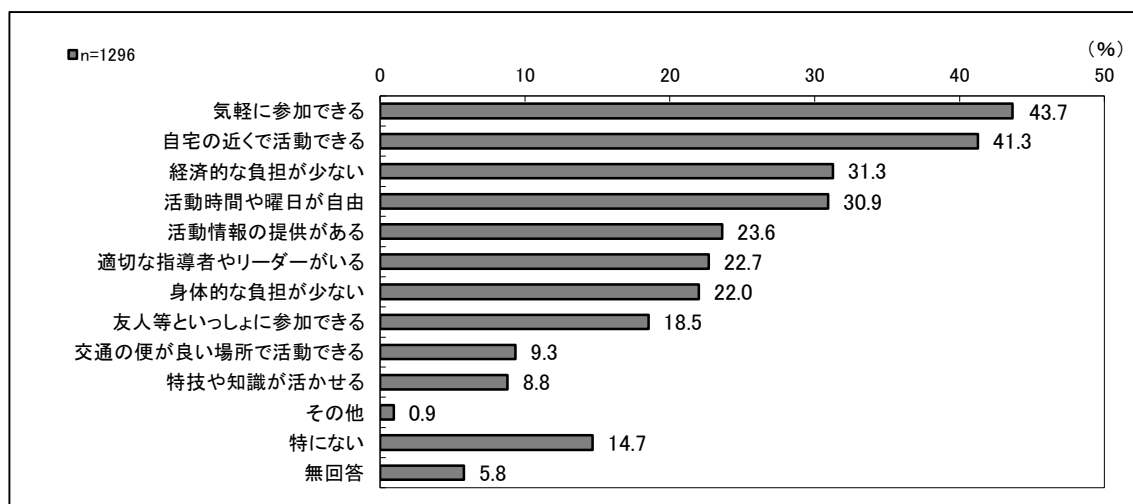
- 「気軽に参加できる」が第1位。「自宅の近くで活動できる」、「経済的な負担が少ない」などが続く。

参加しやすいと思う地域活動の条件については、「気軽に参加できる」(43.7%)が最も多く、次いで「自宅の近くで活動できる」(41.3%)、「経済的な負担が少ない」(31.3%)、「活動時間や曜日が自由」(30.9%)、「活動情報の提供がある」(23.6%)、「適切な指導者やリーダーがいる」(22.7%)、「身体的な負担が少ない」(22.0%)、「友人等といっしょに参加できる」(18.5%)、「交通の便が良い場所で活動できる」(9.3%)、「特技や知識が活かせる」(8.8%)、「その他」(0.9%)となっている。なお、「特にない」は14.7%となっている。

性別でみると、男性では「自宅の近くで活動できる」が第1位となっている。

年齢でみると、20歳未満では「友人等といっしょに参加できる」、30代では「経済的な負担が少ない」、70代と80歳以上では「自宅の近くで活動できる」が第1位となっている。

図表 参加しやすいと思う地域活動の条件（全体／複数回答）





図表 参加しやすいと思う地域活動の条件（全体・属性別－上位3項目／複数回答）

		第1位	第2位	第3位
全体		気軽に参加できる 43.7%	自宅の近くで活動できる 41.3%	経済的な負担が少ない 31.3%
性別	男性	自宅の近くで活動できる 41.0%	気軽に参加できる 40.9%	活動時間や曜日が自由 30.8%
	女性	気軽に参加できる 46.4%	自宅の近くで活動できる 41.8%	経済的な負担が少ない 35.0%
年齢	20歳未満	友人等といっしょに参加できる 50.0%	自宅の近くで活動できる／気軽に参加できる 45.5%	
	20代	気軽に参加できる 52.4%	経済的な負担が少ない 41.3%	自宅の近くで活動できる／活動時間や曜日が自由 38.1%
	30代	経済的な負担が少ない 53.7%	活動時間や曜日が自由 51.9%	自宅の近くで活動できる 43.5%
	40代	気軽に参加できる 55.8%	経済的な負担が少ない 47.3%	活動時間や曜日が自由 44.2%
	50代	気軽に参加できる 49.3%	自宅の近くで活動できる 41.6%	活動時間や曜日が自由 38.9%
	60代	気軽に参加できる 45.2%	自宅の近くで活動できる 44.8%	経済的な負担が少ない 29.5%
	70代	自宅の近くで活動できる 42.5%	気軽に参加できる 39.8%	活動時間や曜日が自由 22.0%
	80歳以上	自宅の近くで活動できる 35.7%	気軽に参加できる 25.9%	身体的な負担が少ない 21.0%
居住地区	本庄東中学校区	自宅の近くで活動できる／気軽に参加できる 38.1%		経済的な負担が少ない 30.4%
	本庄西中学校区	気軽に参加できる 47.6%	自宅の近くで活動できる 41.0%	活動時間や曜日が自由 32.8%
	本庄南中学校区	気軽に参加できる 48.5%	自宅の近くで活動できる 42.9%	経済的な負担が少ない 34.4%
	児玉中学校区	自宅の近くで活動できる 43.8%	気軽に参加できる 41.8%	活動時間や曜日が自由 29.3%

#### (4) 助け合い、支え合い活動の活発化のために重要なこと

問 36 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。【複数回答】

- 「福祉活動の意義と重要性をもっと PR する」が第1位。「助け合いの場などの情報を得やすくする」、「地域活動の拠点となる場の整備」などが続く。

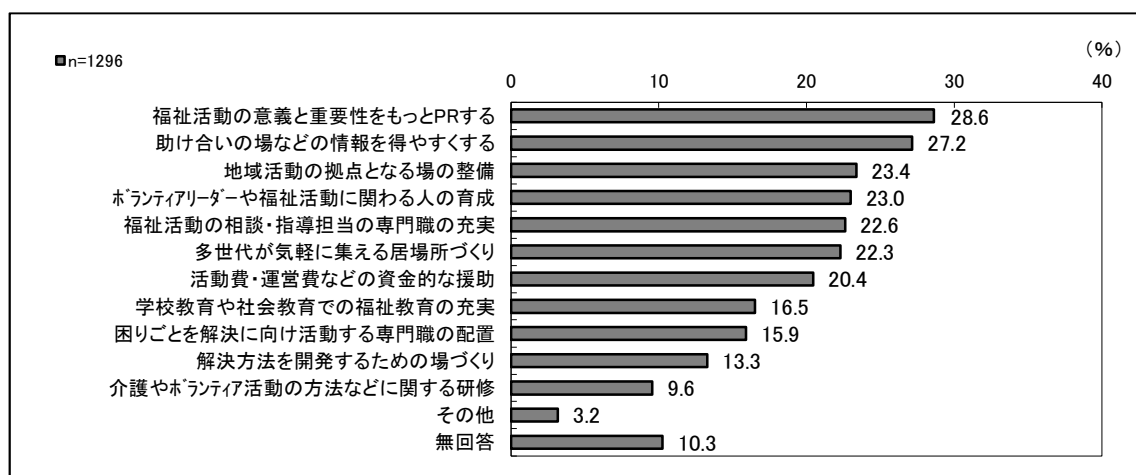
助け合い、支え合い活動の活発化のために重要なことについては、「福祉活動の意義と重要性をもっと PR する」(28.6%) が最も多く、次いで「助け合いの場などの情報を得やすくする」(27.2%)、「地域活動の拠点となる場の整備」(23.4%)、「ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人の育成」(23.0%)、「福祉活動の相談・指導担当の専門職の充実」(22.6%)、「多世代が気軽に集える居場所づくり」(22.3%)、「活動費・運営費などの資金的な援助」(20.4%)、「学校教育や社会教育での福祉教育の充実」(16.5%)、「困りごとを解決に向け活動する専門職の配置」(15.9%)、「解決方法を開発するための場づくり」(13.3%)、「介護やボランティア活動の方法などに関する研修」(9.6%)、「その他」(3.2%) となっている。

性別でみると、女性では「助け合いの場などの情報を得やすくする」が第1位となっている。

年齢でみると、20 歳未満では「学校教育や社会教育での福祉教育の充実」、20 代では「活動費・運営費などの資金的な援助」が第1位となっている。

居住地区でみると、本庄東中学校区では「助け合いの場などの情報を得やすくする」が第1位となっている。

図表 助け合い、支え合い活動の活発化のために重要なこと（全体／複数回答）



図表 助け合い、支え合い活動の活発化のために重要なこと  
(全体・属性別－上位3項目／複数回答)

		第1位	第2位	第3位
全体		福祉活動の意義と重要性をもっとPRする 28.6%	助け合いの場などの情報を得やすくする 27.2%	地域活動の拠点となる場の整備 23.4%
性別	男性	福祉活動の意義と重要性をもっとPRする 31.9%	地域活動の拠点となる場の整備 25.3%	助け合いの場などの情報を得やすくする 24.6%
	女性	助け合いの場などの情報を得やすくする 29.3%	福祉活動の意義と重要性をもっとPRする 26.2%	多世代が気軽に集える居場所づくり 25.7%
年齢	20歳未満	学校教育や社会教育での福祉教育の充実 45.5%	地域活動の拠点となる場の整備／多世代が気軽に集える居場所づくり 31.8%	
	20代	活動費・運営費などの資金的な援助 38.1%	福祉活動の相談・指導担当の専門職の充実 34.9%	多世代が気軽に集える居場所づくり 31.7%
	30代	助け合いの場などの情報を得やすくする 33.3%	地域活動の拠点となる場の整備／福祉活動の相談・指導担当の専門職の充実 29.6%	
	40代	助け合いの場などの情報を得やすくする 37.6%	学校教育や社会教育での福祉教育の充実 29.1%	地域活動の拠点となる場の整備 27.9%
	50代	福祉活動の意義と重要性をもっとPRする／福祉活動の相談・指導担当の専門職の充実／助け合いの場などの情報を得やすくする／ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人の育成 29.9%		
	60代	福祉活動の意義と重要性をもっとPRする 27.4%	助け合いの場などの情報を得やすくする 27.0%	ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人の育成 25.7%
	70代	福祉活動の意義と重要性をもっとPRする 36.0%	助け合いの場などの情報を得やすくする 24.8%	多世代が気軽に集える居場所づくり 22.0%
	80歳以上	福祉活動の意義と重要性をもっとPRする 30.1%	地域活動の拠点となる場の整備／ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人の育成 21.7%	
居住地区	本庄東中学校区	助け合いの場などの情報を得やすくする 28.3%	福祉活動の意義と重要性をもっとPRする 28.0%	ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人の育成 23.4%
	本庄西中学校区	福祉活動の意義と重要性をもっとPRする 29.7%	福祉活動の相談・指導担当の専門職の充実 27.5%	助け合いの場などの情報を得やすくする 25.3%
	本庄南中学校区	福祉活動の意義と重要性をもっとPRする 29.4%	助け合いの場などの情報を得やすくする 28.1%	ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人の育成 25.6%
	児玉中学校区	福祉活動の意義と重要性をもっとPRする 28.6%	助け合いの場などの情報を得やすくする 26.9%	多世代が気軽に集える居場所づくり 25.6%

## (5) 今後してみたい地域活動

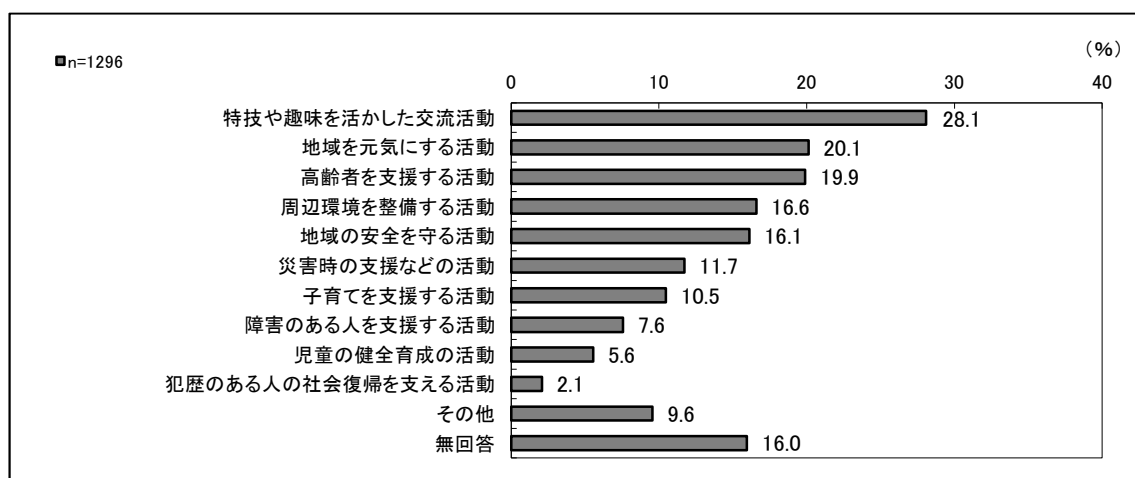
問 37 今後してみたい地域活動は何ですか。【複数回答】

- 「特技や趣味を活かした交流活動」が第1位。「地域を元気にする活動」、「高齢者を支援する活動」などが続く。

今後してみたい地域活動については、「特技や趣味を活かした交流活動」(28.1%)が最も多く、次いで「地域を元気にする活動」(20.1%)、「高齢者を支援する活動」(19.9%)、「周辺環境を整備する活動」(16.6%)、「地域の安全を守る活動」(16.1%)、「災害時の支援などの活動」(11.7%)、「子育てを支援する活動」(10.5%)、「障害のある人を支援する活動」(7.6%)、「児童の健全育成の活動」(5.6%)、「犯歴のある人の社会復帰を支える活動」(2.1%)、「その他」(9.6%)となっている。

年齢でみると、30代では「子育てを支援する活動」、70代では「地域を元気にする活動」、80歳以上では「高齢者を支援する活動」が第1位となっている。

図表 今後してみたい地域活動（全体／複数回答）



図表 今後してみたい地域活動（全体・属性別－上位３項目／複数回答）

		第１位	第２位	第３位
全体		特技や趣味を活かした交流活動 28.1%	地域を元気にする活動 20.1%	高齢者を支援する活動 19.9%
性別	男性	特技や趣味を活かした交流活動 27.6%	地域を元気にする活動 25.6%	周辺環境を整備する活動 21.5%
	女性	特技や趣味を活かした交流活動 28.9%	高齢者を支援する活動 21.3%	地域を元気にする活動 15.9%
年齢	20 歳未満	特技や趣味を活かした交流活動 45.5%	地域を元気にする活動 31.8%	災害時の支援などの活動 27.3%
	20 代	特技や趣味を活かした交流活動 36.5%	子育てを支援する活動 28.6%	高齢者を支援する活動 19.0%
	30 代	子育てを支援する活動 34.3%	特技や趣味を活かした交流活動 29.6%	児童の健全育成の活動 17.6%
	40 代	特技や趣味を活かした交流活動 32.7%	周辺環境を整備する活動／地域の安全を守る活動 20.0%	
	50 代	特技や趣味を活かした交流活動 32.6%	周辺環境を整備する活動 20.4%	高齢者を支援する活動 19.9%
	60 代	特技や趣味を活かした交流活動 33.6%	地域を元気にする活動 21.6%	高齢者を支援する活動 20.7%
	70 代	地域を元気にする活動 24.5%	高齢者を支援する活動 21.7%	特技や趣味を活かした交流活動 21.4%
	80 歳以上	高齢者を支援する活動 23.8%	地域を元気にする活動 21.7%	特技や趣味を活かした交流活動 15.4%
居住地区	本庄東 中学校区	特技や趣味を活かした交流活動 26.6%	地域を元気にする活動 17.8%	地域の安全を守る活動 16.4%
	本庄西 中学校区	高齢者を支援する活動／特技や趣味を活かした交流活動 25.8%		周辺環境を整備する活動 19.7%
	本庄南 中学校区	特技や趣味を活かした交流活動 30.6%	地域を元気にする活動 22.9%	高齢者を支援する活動 19.6%
	児玉 中学校区	特技や趣味を活かした交流活動 28.6%	高齢者を支援する活動 21.2%	地域を元気にする活動 20.5%

## (6) 地域活動や福祉サービスに関する情報の入手先

問 38 地域活動や福祉サービスに関する情報をどこから、または誰から入手しようと思いますか。【複数回答】

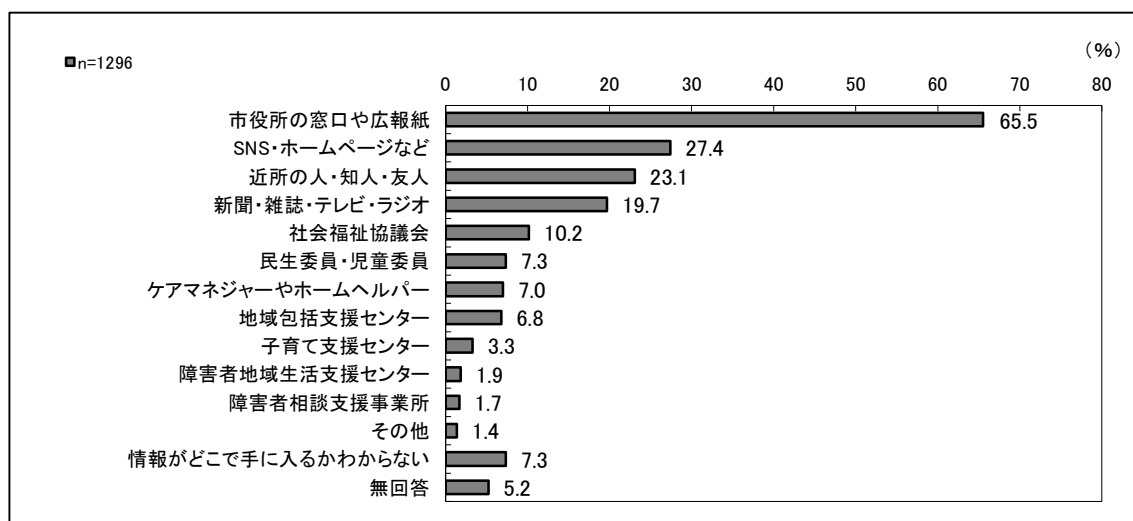


- 「市役所の窓口や広報紙」が第1位。「SNS・ホームページなど」、「近所の人・知人・友人」などが続く。

地域活動や福祉サービスに関する情報の入手先については「市役所の窓口や広報紙」(65.5%)が最も多く、次いで「SNS・ホームページなど」(27.4%)、「近所の人・知人・友人」(23.1%)、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(19.7%)、「社会福祉協議会」(10.2%)、「民生委員・児童委員」(7.3%)、「ケアマネジャーやホームヘルパー」(7.0%)、「地域包括支援センター」(6.8%)、「子育て支援センター」(3.3%)、「障害者地域生活支援センター」(1.9%)、「障害者相談支援事業所」(1.7%)、「その他」(1.4%)となっている。なお、「情報がどこで手に入るかわからない」は7.3%となっている。

年齢でみると、20代以下では「SNS・ホームページなど」が第1位となっている。

図表 地域活動や福祉サービスに関する情報の入手先（全体／複数回答）



図表 地域活動や福祉サービスに関する情報の入手先  
(全体・属性別－上位3項目／複数回答)

		第1位	第2位	第3位
全体		市役所の窓口や広報紙 65.5%	SNS・ホームページなど 27.4%	近所の人・知人・友人 23.1%
性別	男性	市役所の窓口や広報紙 64.9%	SNS・ホームページなど 27.1%	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ 22.0%
	女性	市役所の窓口や広報紙 66.5%	SNS・ホームページなど 27.2%	近所の人・知人・友人 25.5%
年齢	20歳未満	市役所の窓口や広報紙／SNS・ホームページなど 45.5%		近所の人・知人・友人 31.8%
	20代	SNS・ホームページなど 69.8%	市役所の窓口や広報紙 44.4%	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ 17.5%
	30代	市役所の窓口や広報紙 58.3%	SNS・ホームページなど 54.6%	子育て支援センター 16.7%
	40代	市役所の窓口や広報紙 65.5%	SNS・ホームページなど 47.9%	近所の人・知人・友人 21.8%
	50代	市役所の窓口や広報紙 69.7%	SNS・ホームページなど 33.9%	近所の人・知人・友人 19.9%
	60代	市役所の窓口や広報紙 73.0%	近所の人・知人・友人 21.6%	SNS・ホームページなど 21.2%
	70代	市役所の窓口や広報紙 71.4%	近所の人・知人・友人 29.8%	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ 27.3%
	80歳以上	市役所の窓口や広報紙 53.1%	近所の人・知人・友人 26.6%	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ 23.8%
居住地区	本庄東中学校区	市役所の窓口や広報紙 64.3%	SNS・ホームページなど 26.6%	近所の人・知人・友人 21.3%
	本庄西中学校区	市役所の窓口や広報紙 64.6%	SNS・ホームページなど 26.2%	近所の人・知人・友人 24.0%
	本庄南中学校区	市役所の窓口や広報紙 69.9%	SNS・ホームページなど 33.5%	近所の人・知人・友人 24.3%
	児玉中学校区	市役所の窓口や広報紙 64.0%	近所の人・知人・友人 23.9%	SNS・ホームページなど 20.2%

## (7) 民生委員・児童委員制度の認知状況

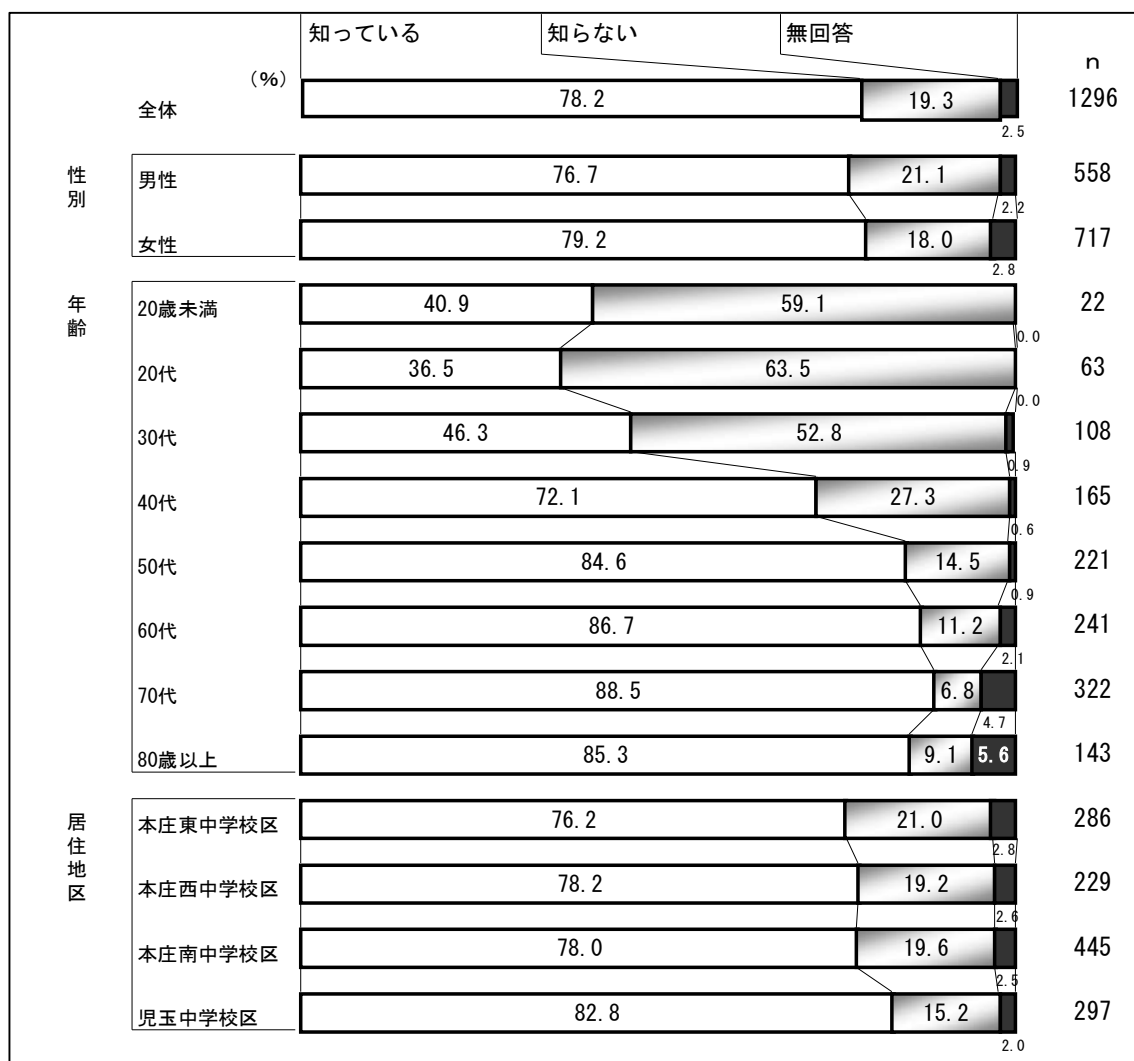
問 39 民生委員・児童委員制度を御存じですか。

- 「知っている」が8割弱、「知らない」が2割弱を占める。

民生委員・児童委員制度の認知状況については、「知っている」が78.2%、「知らない」が19.3%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「知っている」の割合が高くなる傾向がうかがえ、50代以上では8割以上となっている。

図表 民生委員・児童委員制度の認知状況（全体・属性別）





## (8) 地区の民生委員・児童委員が誰か知っているか

問 40 あなたがお住まいの地区の民生委員・児童委員が誰か御存じですか。

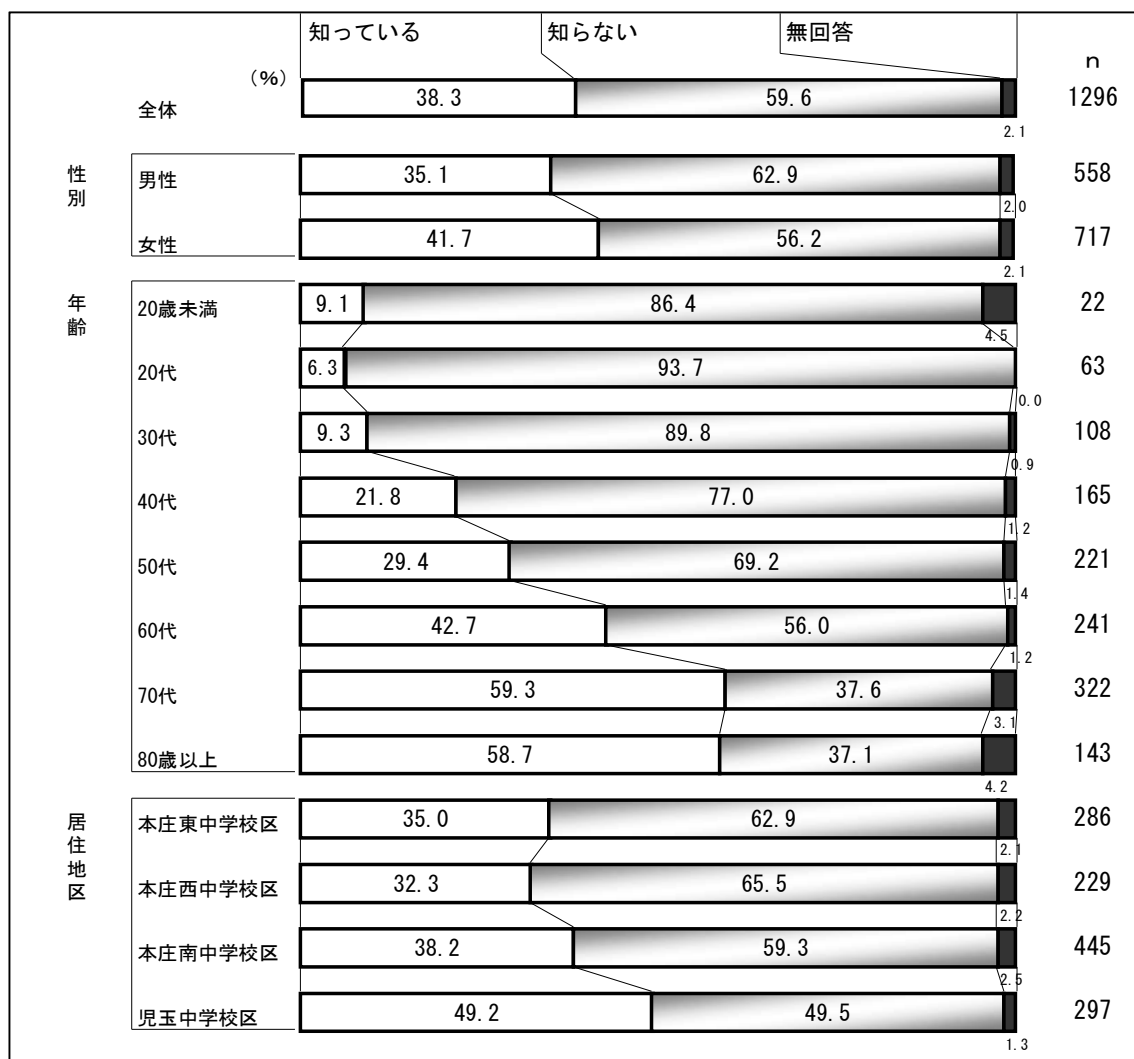
- 「知らない」が6割弱、「知っている」が4割弱を占める。

地区の民生委員・児童委員が誰か知っているかについては、「知らない」が 59.6%、「知っている」が 38.3%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「知っている」の割合が高くなる傾向がうかがえ、70代以上ではいずれも6割弱を占めている。

居住地区でみると、児玉中学校区では「知っている」が 49.2%と、他の地区と比べて高くなっている。

図表 地区の民生委員・児童委員が誰か知っているか（全体・属性別）



## (9) 本庄市社会福祉協議会の認知状況

問 41 あなたは、本庄市社会福祉協議会を御存じですか。



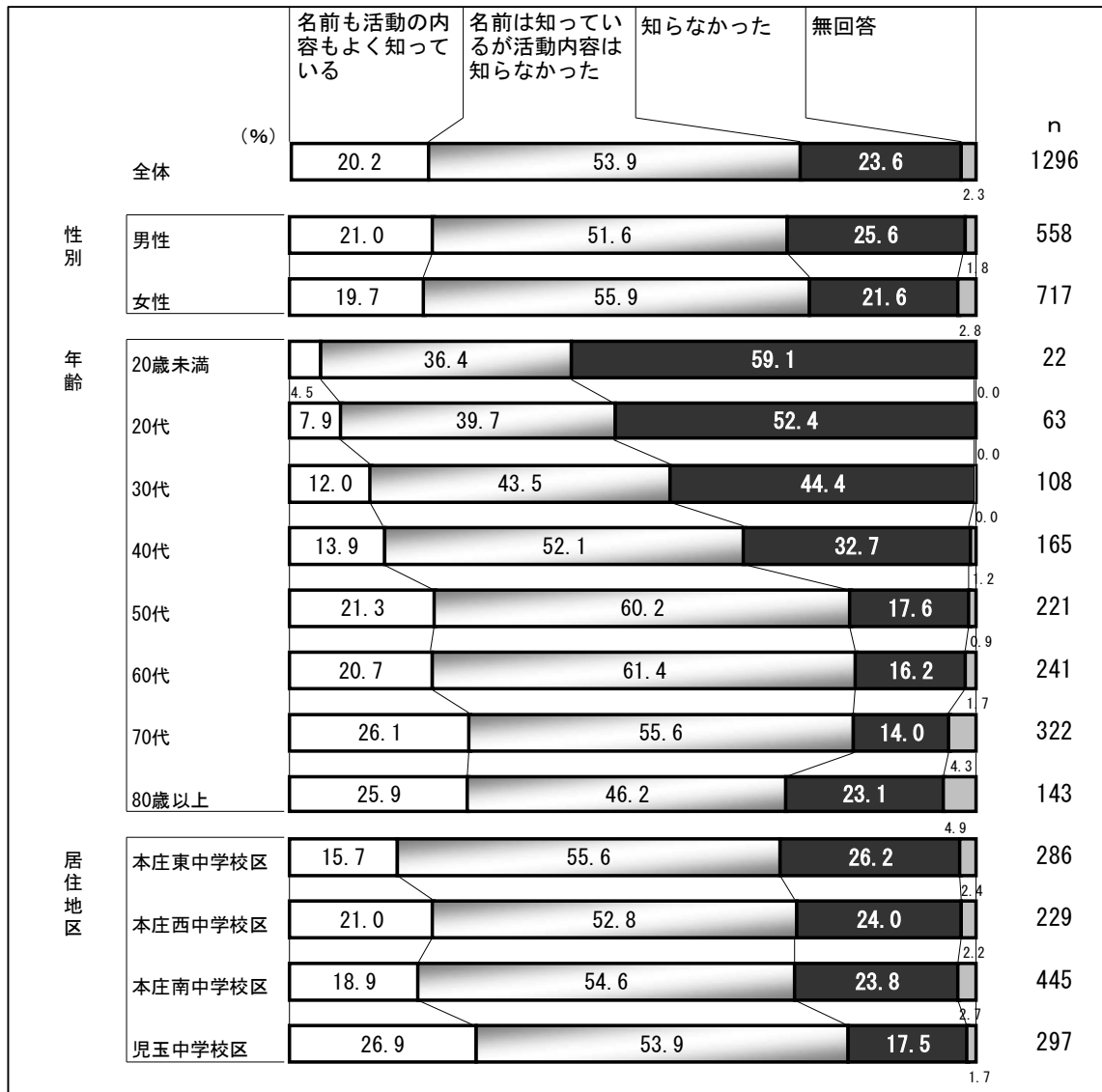
- 「名前は知っているが活動内容は知らなかった」が5割強、「知らなかった」、「名前も活動の内容もよく知っている」がともに2割強を占める。

本庄市社会福祉協議会の認知状況については、「名前は知っているが活動内容は知らなかった」が53.9%、「知らなかった」が23.6%、「名前も活動の内容もよく知っている」が20.2%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「名前も活動の内容もよく知っている」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

居住地区でみると、児玉中学校区では「名前も活動の内容もよく知っている」が26.9%と、他の地区よりも高くなっている。

図表 本庄市社会福祉協議会の認知状況（全体・属性別）



## (10) 社会福祉協議会が会員制度であることの認知状況

問 42 あなたは、社会福祉協議会が会員制度であることを御存じですか。

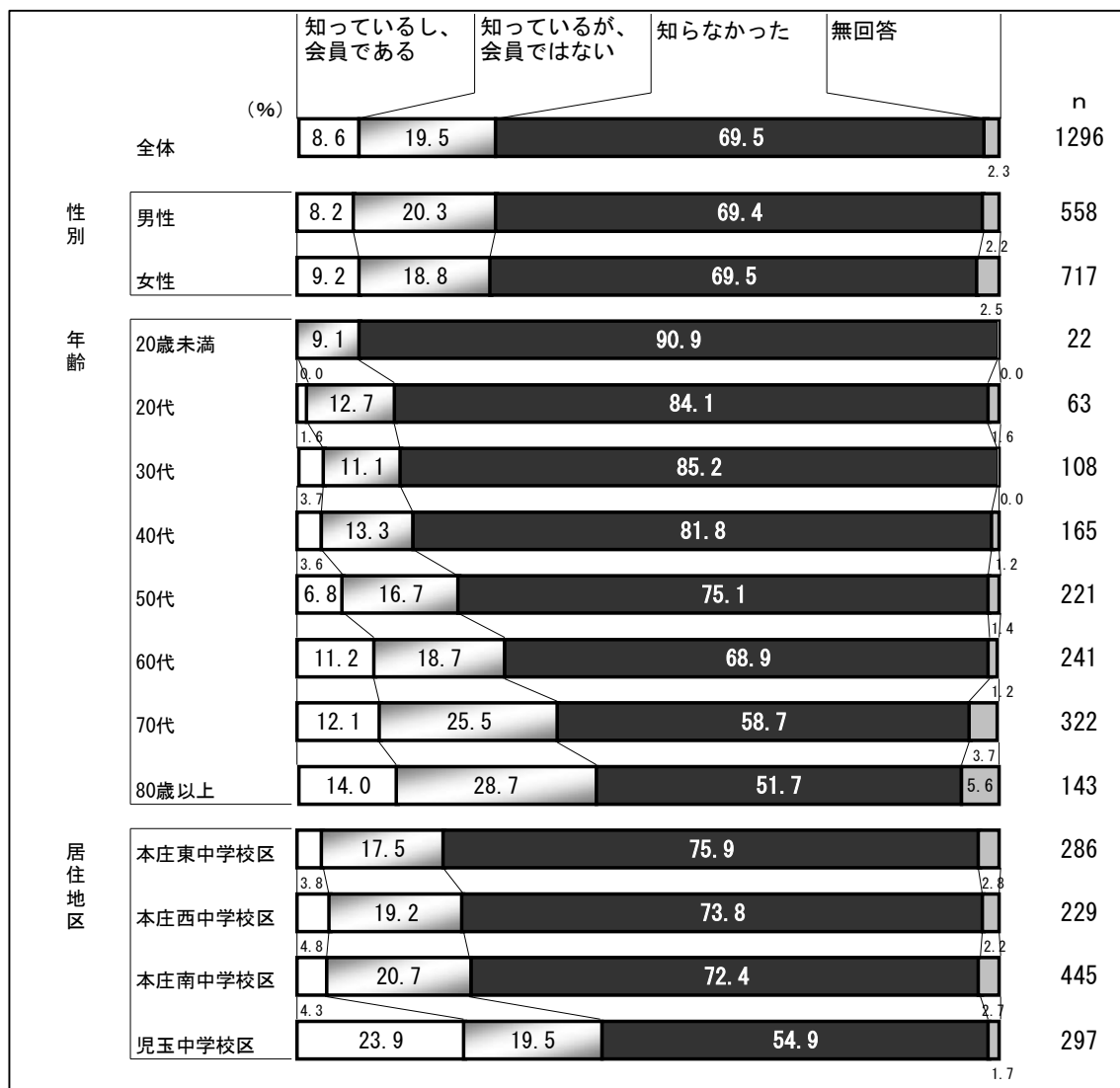
- 「知らなかった」が7割弱、「知っているが、会員ではない」が2割弱を占める。「知っているし、会員である」は1割に満たない。

社会福祉協議会が会員制度であることの認知状況については、「知らなかった」が69.5%、「知っているが、会員ではない」が19.5%、「知っているし、会員である」が8.6%となっている。

年齢でみると、若年層ほど「知らなかった」の割合が高くなる傾向がうかがえ、20歳未満では90.9%となっている。

居住地区でみると、児玉中学校区では「知っているし、会員である」が23.9%と他の地区よりも大幅に高い割合を占めている。

図表 社会福祉協議会が会員制度であることの認知状況（全体・属性別）



## (11) 社会福祉協議会に期待すること

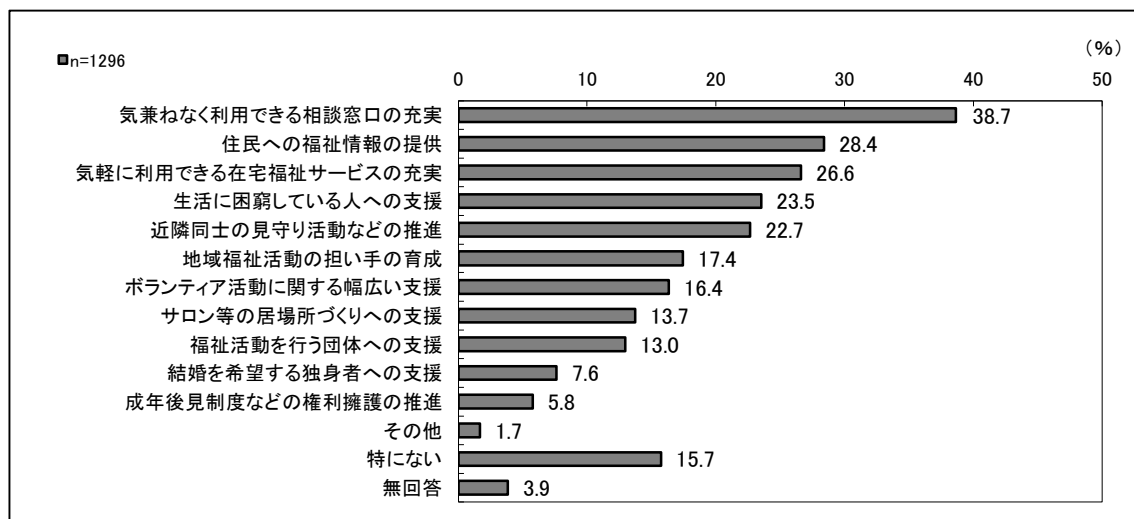
問 43 あなたが、社会福祉協議会に期待することはどんなことですか。【複数回答】

- 「気兼ねなく利用できる相談窓口の充実」が第1位。「住民への福祉情報の提供」、「気軽に利用できる在宅福祉サービスの充実」などが続く。

社会福祉協議会に期待することについては、「気兼ねなく利用できる相談窓口の充実」(38.7%)が最も多く、次いで「住民への福祉情報の提供」(28.4%)、「気軽に利用できる在宅福祉サービスの充実」(26.6%)、「生活に困窮している人への支援」(23.5%)、「近隣同士の見守り活動などの推進」(22.7%)、「地域福祉活動の担い手の育成」(17.4%)、「ボランティア活動に関する幅広い支援」(16.4%)、「サロン等の居場所づくりへの支援」(13.7%)、「福祉活動を行う団体への支援」(13.0%)、「結婚を希望する独身者への支援」(7.6%)、「成年後見制度などの権利擁護の推進」(5.8%)、「その他」(1.7%)となっている。なお、「特にない」が15.7%となっている。

年齢で見ると、20歳未満と20代では「生活に困窮している人への支援」が第1位となっている。

図表 社会福祉協議会に期待すること（全体／複数回答）



図表 社会福祉協議会に期待すること（全体・属性別－上位3項目／複数回答）

		第1位	第2位	第3位
全体		気兼ねなく利用できる相談窓口の充実 38.7%	住民への福祉情報の提供 28.4%	気軽に利用できる在宅福祉サービスの充実 26.6%
性別	男性	気兼ねなく利用できる相談窓口の充実 35.7%	住民への福祉情報の提供 27.1%	近隣同士の見守り活動などの推進 26.9%
	女性	気兼ねなく利用できる相談窓口の充実 40.7%	気軽に利用できる在宅福祉サービスの充実 30.8%	住民への福祉情報の提供 29.3%
年齢	20歳未満	生活に困窮している人への支援 22.7%	サロン等の居場所づくりへの支援／福祉活動を行う団体への支援／気兼ねなく利用できる相談窓口の充実／住民への福祉情報の提供／気軽に利用できる在宅福祉サービスの充実 13.6%	
	20代	生活に困窮している人への支援 34.9%	気兼ねなく利用できる相談窓口の充実 30.2%	住民への福祉情報の提供 27.0%
	30代	気兼ねなく利用できる相談窓口の充実 37.0%	生活に困窮している人への支援 31.5%	住民への福祉情報の提供／気軽に利用できる在宅福祉サービスの充実 19.4%
	40代	気兼ねなく利用できる相談窓口の充実 38.8%	生活に困窮している人への支援 31.5%	住民への福祉情報の提供 29.7%
	50代	気兼ねなく利用できる相談窓口の充実 45.7%	住民への福祉情報の提供 32.1%	気軽に利用できる在宅福祉サービスの充実 26.7%
	60代	気兼ねなく利用できる相談窓口の充実 39.4%	住民への福祉情報の提供 31.5%	気軽に利用できる在宅福祉サービスの充実 29.9%
	70代	気兼ねなく利用できる相談窓口の充実 38.2%	近隣同士の見守り活動などの推進／住民への福祉情報の提供／気軽に利用できる在宅福祉サービスの充実 29.5%	
	80歳以上	気兼ねなく利用できる相談窓口の充実 35.7%	近隣同士の見守り活動などの推進 28.7%	住民への福祉情報の提供 23.1%
居住地区	本庄東中学校区	気兼ねなく利用できる相談窓口の充実 38.1%	気軽に利用できる在宅福祉サービスの充実 28.3%	住民への福祉情報の提供 28.0%
	本庄西中学校区	気兼ねなく利用できる相談窓口の充実 42.8%	気軽に利用できる在宅福祉サービスの充実 30.6%	住民への福祉情報の提供 27.5%
	本庄南中学校区	気兼ねなく利用できる相談窓口の充実 42.2%	住民への福祉情報の提供 29.2%	気軽に利用できる在宅福祉サービスの充実 25.8%
	児玉中学校区	気兼ねなく利用できる相談窓口の充実 31.3%	住民への福祉情報の提供 29.6%	近隣同士の見守り活動などの推進 29.0%

## (12) 住民と行政の協力関係

問 44 住民と行政の協力関係について、どのように思いますか。

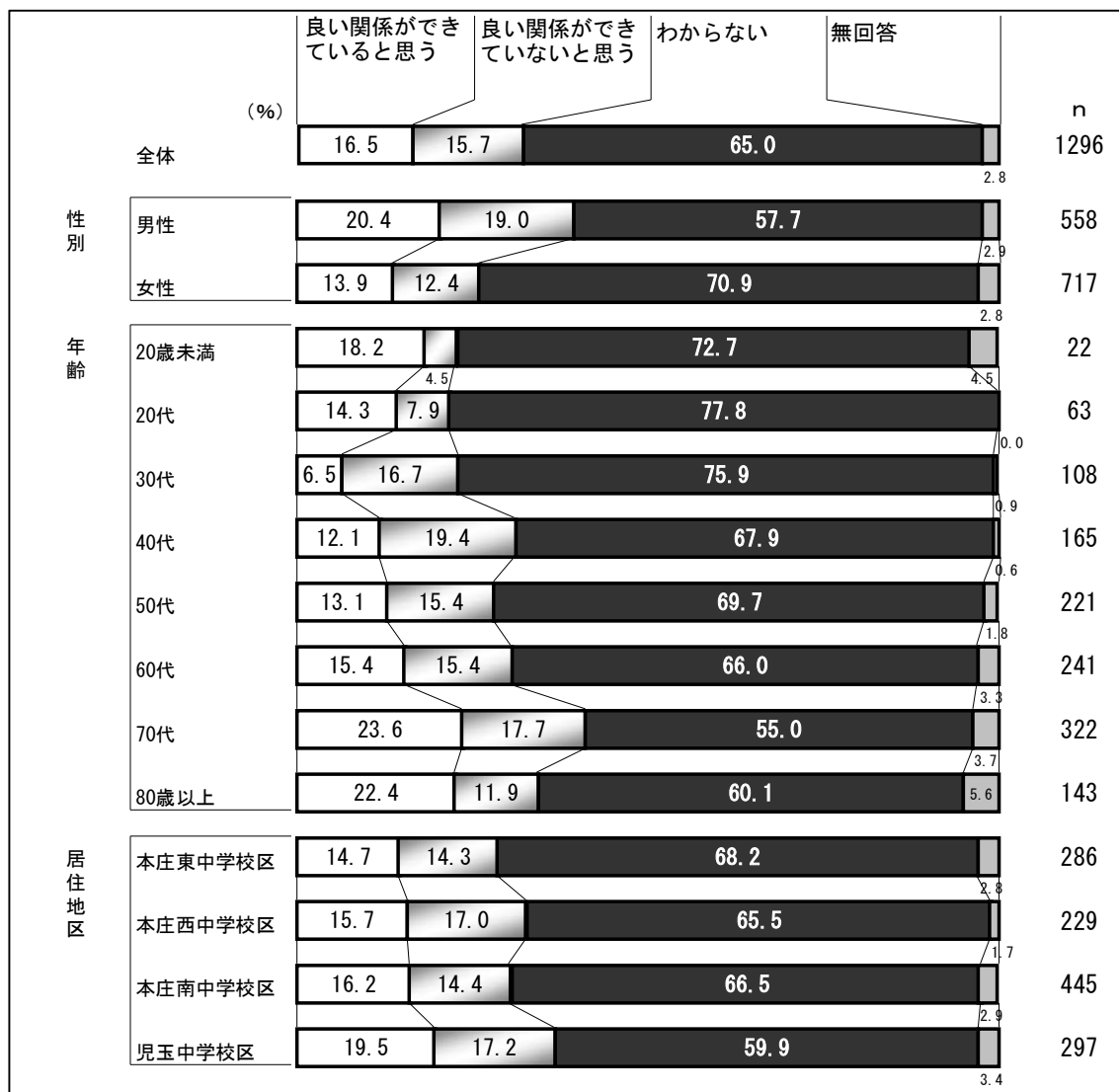
- 「わからない」が7割弱を占める。

住民と行政の協力関係については、「良い関係ができていると思う」が 16.5%、「良い関係ができていると思う」が 15.7%となっている。「わからない」が 65.0%となっている。

性別でみると、男性では「良い関係ができていると思う」が 20.4%となっているのに対し、女性では 13.9%となっている。

年齢でみると、70 代以上では「良い関係ができていると思う」が2割以上を占めている。

図表 住民と行政の協力関係について（全体・属性別）



### (13) SDGs の認知状況

問 45 SDGs を御存じですか。

- 「内容を知っている」が5割弱、「内容は知らないが聞いたことはある」が3割弱、「知らない」が2割強を占める。

SDGs の認知状況については、「内容を知っている」が45.6%、「内容は知らないが聞いたことはある」が28.4%、「知らない」が24.1%となっている。

年齢でみると、若年層ほど「内容を知っている」の割合が高くなる傾向がうかがえる。50代以下では「内容を知っている」が6割以上を占めている。

居住地区でみると、本庄南中学校区では51.5%と他の地区よりも高くなっている。

図表 SDGs の認知状況（全体・属性別）

